

はりまや橋小学校区 津波避難計画書

平成 26 年 7 月作成

平成 28 年 3 月改訂

令和 3 年 3 月改訂

令和 5 年 3 月改訂

令和 6 年 3 月改訂

はりまや橋小学校区防災連合会

目 次

第1章	はじめに	1
第2章	地区別津波避難計画の目的.....	2
第3章	想定される地震・津波と被害想定	3
第1節	高知市全体の予測.....	3
第2節	はりまや橋小学校区の予測.....	9
第4章	はりまや橋小学校区の概要.....	14
第1節	地形特性	14
第2節	社会環境.....	16
第5章	はりまや橋小学校区の津波避難の考え方.....	19
第1節	避難行動の考え方	19
第2節	緊急避難場所.....	24
第3節	津波避難経路.....	38
第4節	津波避難マップ.....	39
第6章	津波避難計画の検証.....	41
第7章	津波避難における課題と今後の取組.....	47
第1節	避難行動の課題.....	47
第2節	課題の解決に向けた取組.....	48
第8章	はりまや橋小学校区津波避難計画の検討経緯.....	54
第9章	南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難.....	55
資料		
I	臨時情報について	
II	はりまや小学校区津波避難行動支援マップ（平成25年度作成）	

第1章 はじめに

高知県真下付近で発生すると予測されている南海トラフ地震は、今後 20 年以内に 60%程度、30 年以内に 70~80%、40 年以内に 90%程度（地震調査研究推進本部：令和5年1月現在）の高い確率で発生すると言われています。また、内閣府が平成 24 年 8 月に発表した「南海トラフの巨大地震^{※1}の被害想定について」ではマグニチュード 9.1 と、東日本大震災のマグニチュード 9.0 を上回る規模の地震の発生を予想しています。

高知市においても、過去の南海地震で繰り返し被害を受けてきたことを踏まえ、「南海トラフの巨大地震」が発生した場合でも、被害を最小限に軽減するために市民と事業者、市などが一体となって対策を進める必要があります。

高知県が平成 25 年 12 月に公表した「高知県津波避難計画策定指針」では、津波浸水の予測される区域内の自主防災組織などは、津波からの円滑な避難を行うために、「地域（地区別）津波避難計画」を策定することが規定されています。

そのため、津波被害から命を守るために、市民一人一人が「津波から避難する」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な高台や津波避難ビルなどへ迅速に避難することを目的として、はりまや橋小学校区津波避難計画検討会は「はりまや橋小学校区津波避難計画」を作成しました。

※1 「南海トラフの巨大地震」とは、東海・東南海・南海地震が連動して同時に発生した場合の地震のことで、発生頻度は極めて低いが、科学的見地により、発生する可能性のある最大クラスの地震です。

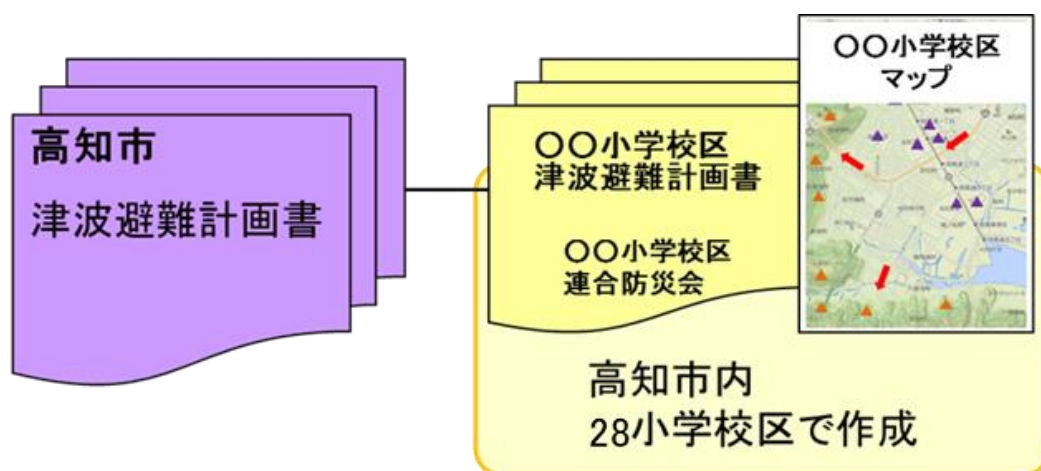


図1-1 小学校区毎の津波避難計画の位置付け

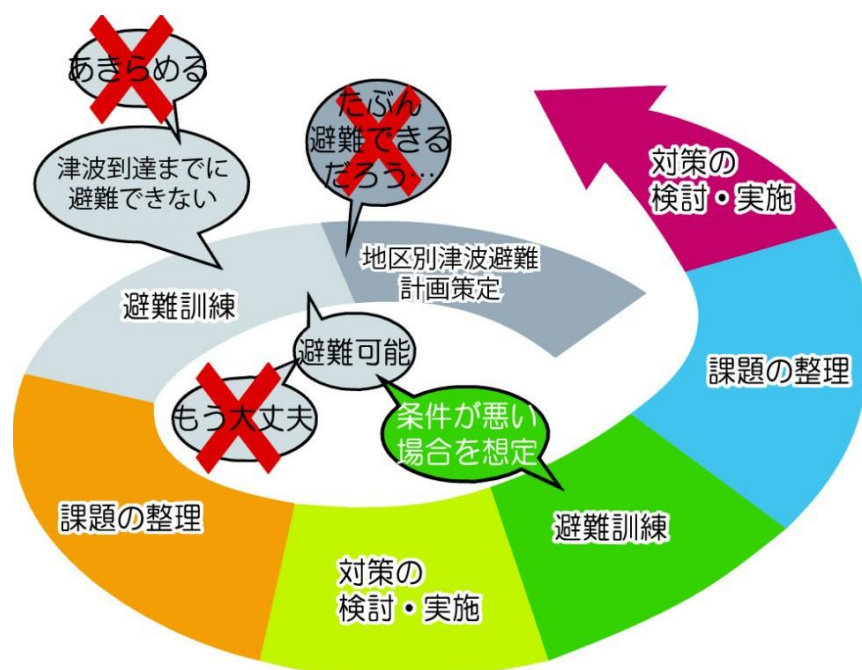
第2章 地区別津波避難計画の目的

高知市は、南海トラフ地震と津波によって大きな被害が想定されています。大きな災害に襲われるおそれのある地域で暮らす私たちにとって、災害に備えることは、安心して暮らすうえで必要不可欠なことです。その手段は、地域の現状と想定される災害について「正しく知り」、「正しく恐れ」、「正しく行動する」ことです。

津波避難計画は、地震発生から、津波が終息するまでの間、どのような状況に陥っても、あきらめず自らの命を守る適切な行動が取れることを目的として、自主防災組織等が、自らの行動計画として策定するものです。

行動計画策定や改訂に至る経緯、避難訓練等で明らかとなった課題をこの計画書に明記し、地域住民が主体となって、行政や学校、事務所等と連携して解決に向けた取組を継続します。

なお、この計画書では地震発生から津波警報が解除されるまでの避難について主に記載しています。避難生活をする指定避難所に関する情報やルールなどについては、別に検討します。



(出典：地域津波避難計画点検マニュアル 平成25年12月 高知県)

図2-1 津波避難計画策定からスタートする地域の津波対策のイメージ

第3章 想定される地震・津波と被害想定

第1節 高知市全体の予測

ポイント

- ・ 高知市の予想震度は最大震度7
- ・ 津波浸水深は最大 10～15m、津波到達時間は沿岸部で最短 10～20分

高知県が平成24年12月に発表した「高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」の結果概要は以下のとおりです。

表3-1 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測の概要（高知県：平成24年12月）

想定地震	南海トラフの巨大地震（内閣府中央防災会議モデル：平成24年8月）
地震規模	マグニチュード9.1（津波断層モデル）
予想震度	震度6弱～7（高知市）
津波予測における潮位	さくぼろ 朔望平均満潮位：T.P.+0.93m 朔望平均満潮位：各月の大潮の満潮の値の平均値 T.P.：日本における標高（海拔）の基準
津波予測における構造物の取扱い	【堤防・防波堤】 土で築造された堤防は地震前の高さの25%に沈下し、津波が越流し始めた時点で「堤防なし」とする。 コンクリート構造物は地震により倒壊して、はじめから「堤防なし」、「防波堤なし」とする。 【水門など】 耐震化され、自動降下対策済み、または常時閉鎖の施設は水門が閉まっているものとする。これ以外の水門などは開いているものとする。

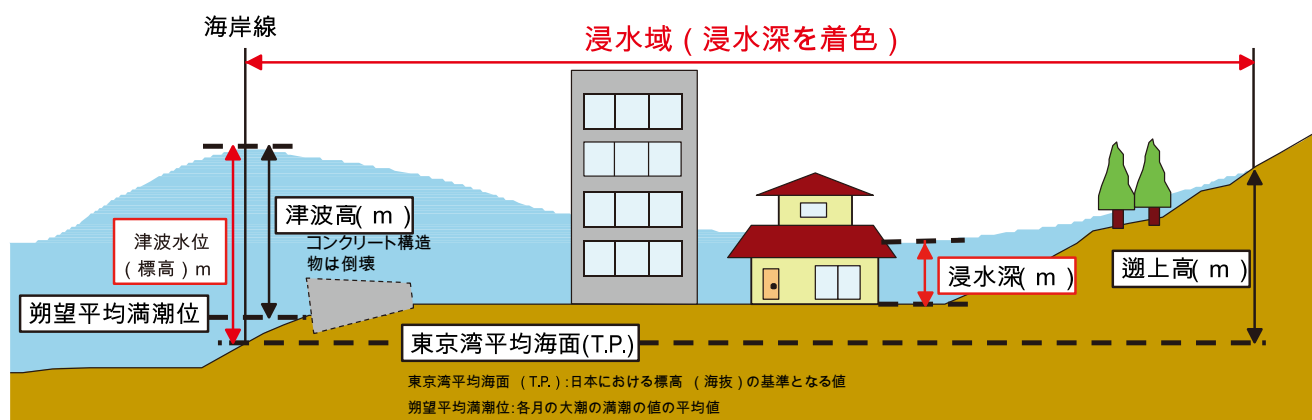


図3-1 津波高・浸水深のイメージ

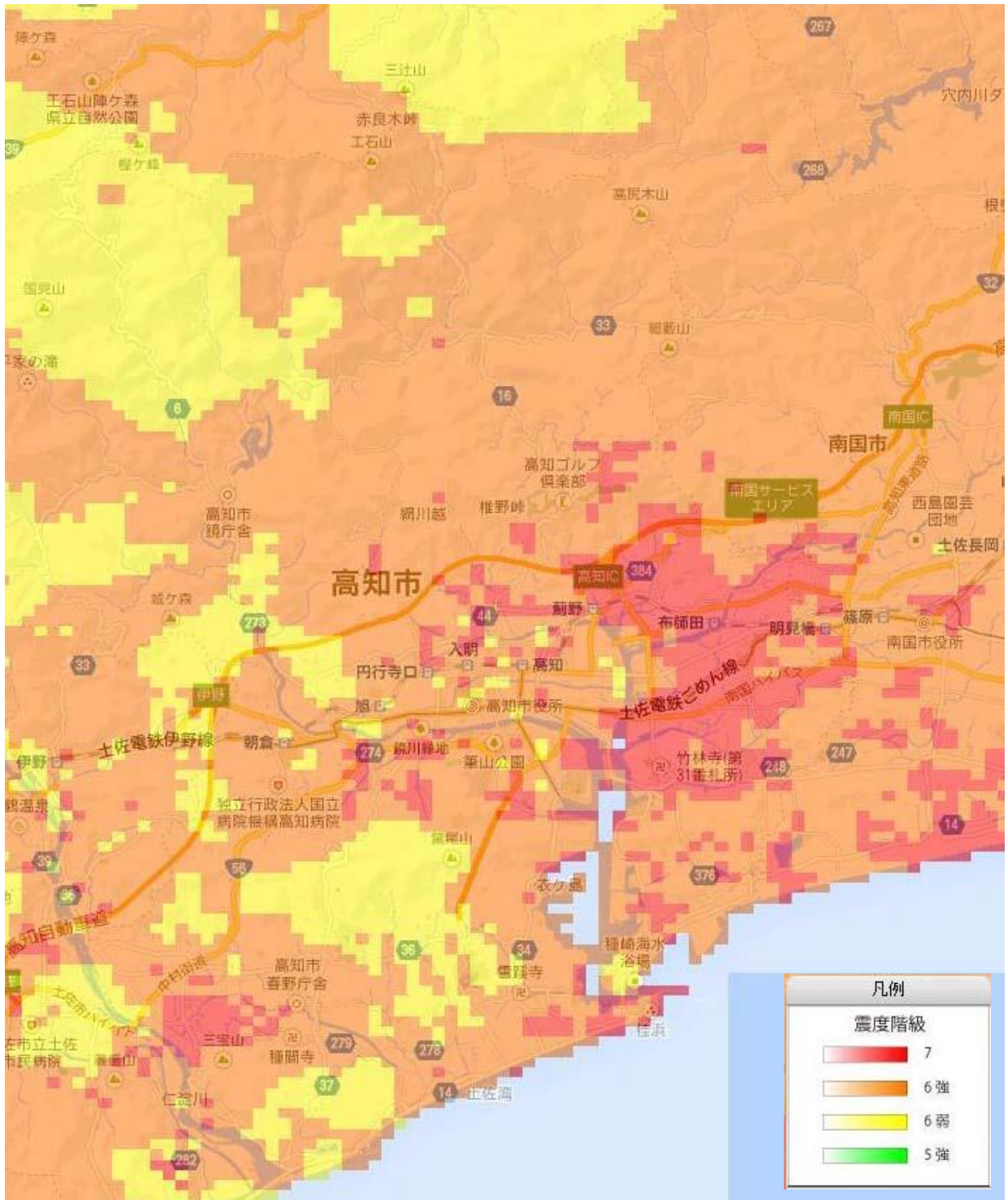
津波からの避難行動を考える場合、津波浸水予測図や、津波浸水予測時間図が参考となります。また、襲来する津波の方向や挙動を表したアニメーションは、避難の方向や避難時間を把握するうえで大変参考になるものです。

はりまや橋小学校区では、校区南東側（昭和小学校区）からの浸水と、鏡川や堀川、江ノ口川を遡上した津波による浸水が想定されています。これらの予測結果を頭に置いて緊急避難場所や津波避難経路を選定することが重要です。

【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波のアニメーション
(高知県ホームページ)

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/tsunami-anime.html>

[高知市の震度分布図]



(出典：高知県ホームページ グーグルマップによる被害想定結果)

図 3-2 高知市の震度分布図

[高知市の津波浸水予測図]

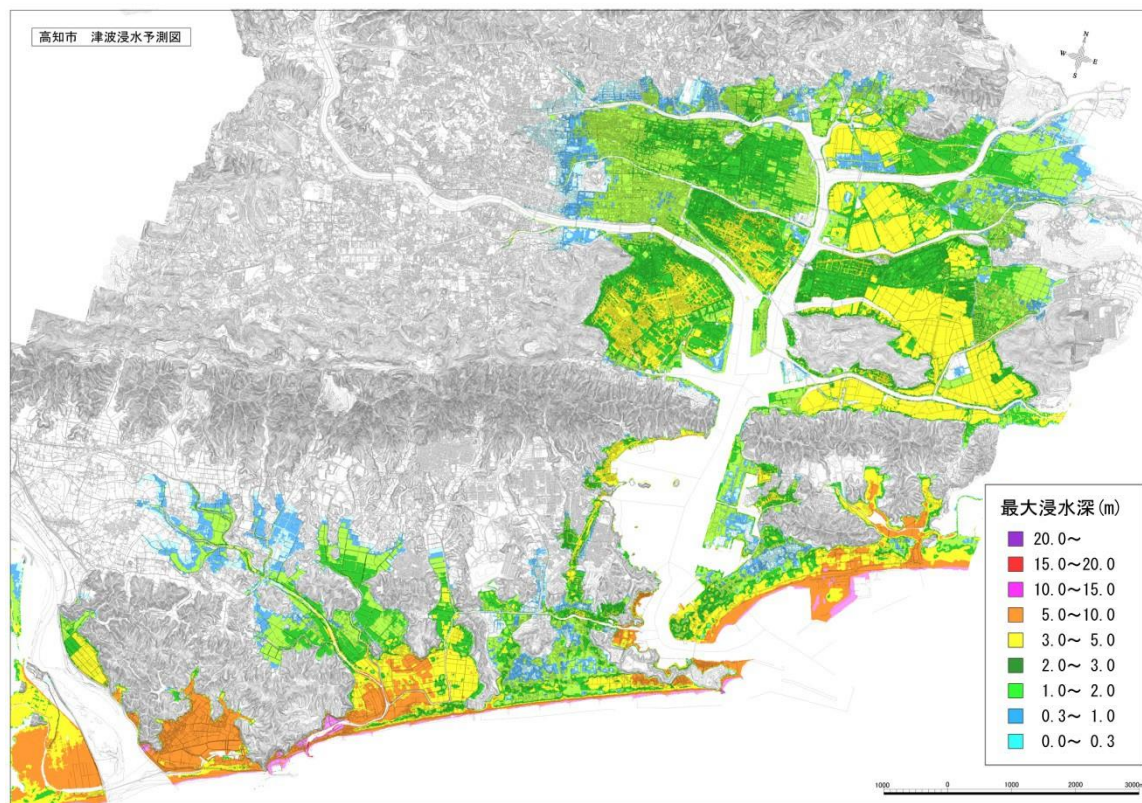


図 3-3 高知市の津波浸水予測図

[高知市の津波浸水予測時間図]

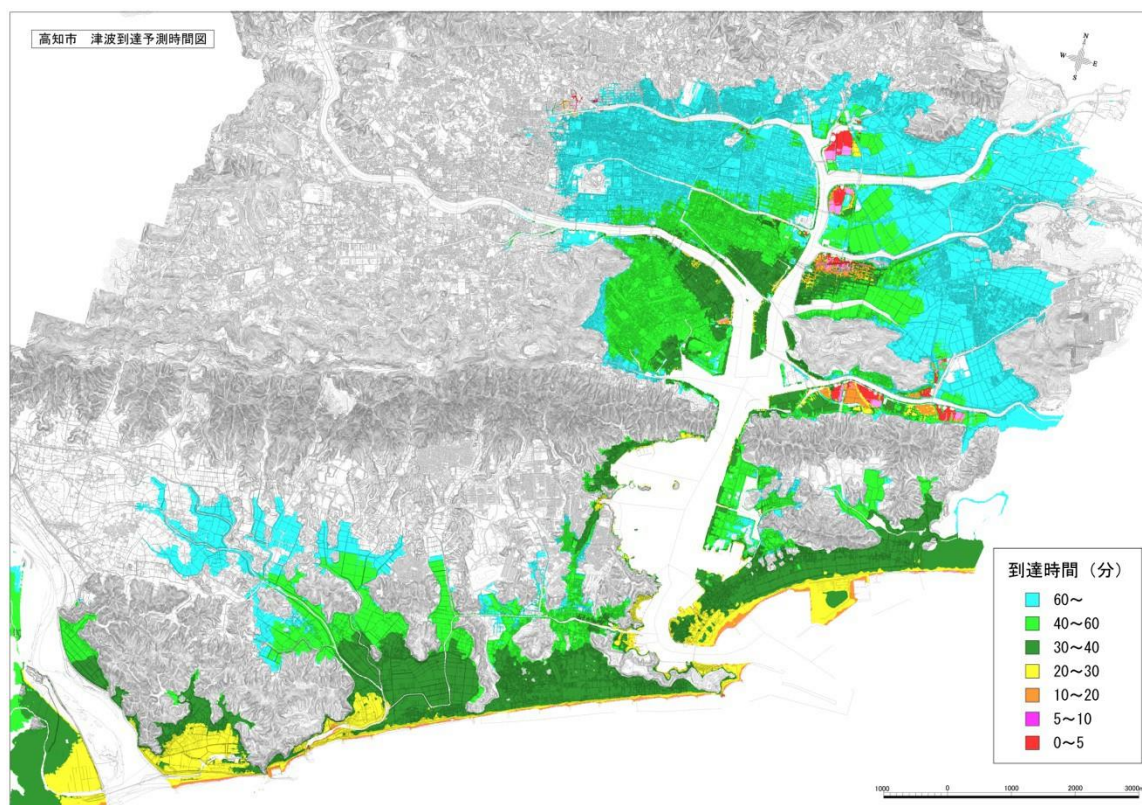


図 3-4 高知市の津波浸水予測時間図

表 3-2 高知市全体の地震・津波による被害想定
 (【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定 平成 25 年 5 月 より)

①建物被害
 総棟数

130,425 棟

被害の要因	全壊 (棟)		半壊 (棟)
	現状	対策後	現状
液状化	340	—	1,400
揺れ	32,000	5,000	29,000
急傾斜地崩壊	260	—	230
津波	16,000	—	22,000
地震火災	2,800	—	—
合計	52,000	5,000	52,000

—：未算出 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

②人的被害
 人口

350,426 人 (平成 17 年度国勢調査)

被災の要因	現状			対策後		
	死者 (人)	負傷者 (人)		死者 (人)	負傷者 (人)	
		うち重傷者	うち重傷者		うち重傷者	
建物倒壊	2,100	11,000	6,300	270	3,000	1,700
急傾斜地崩壊	40	40	20	—	—	—
津波	10,000	840	290	590	0	0
火災	280	200	60	—	—	—
ブロック塀の転倒等	若干数	若干数	若干数	—	—	—
合計	12,420	12,080	6,700	860	3,000	1,700

—：未算出 ※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。



ブロック塀倒壊



建物倒壊



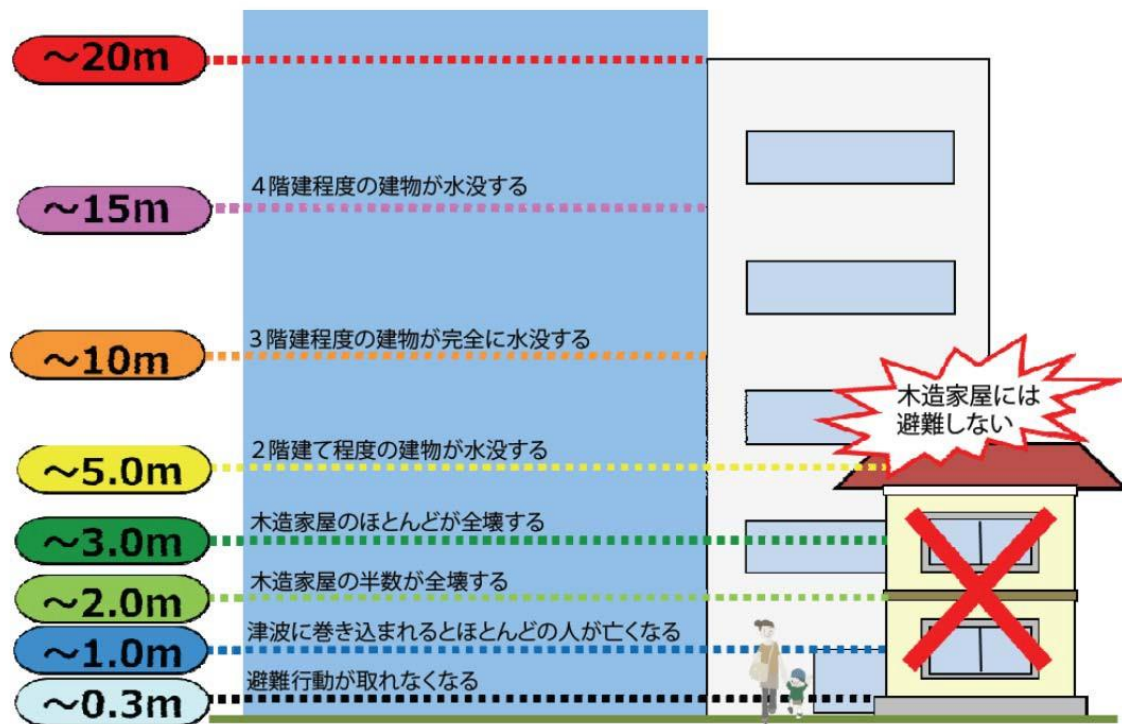
火災



液状化

(出典：(財)消防科学総合センター)

揺れによって想定される被災状況



(出典：高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測 平成24年12月10日 高知県)

図 3-5 津波浸水深の目安

第2節 はりまや橋小学校区の予測

ポイント

- ・ はりまや橋小学校区の予想震度は最大震度7
- ・ 校区全体が液状化する可能性大
- ・ 津波浸水深は最大3m～5m
- ・ 津波到達時間は最短 30 分～40 分

はりまや橋小学校区の予想震度は最大震度7、津波浸水深は最大で3～5m、津波到達時間は最短で30～40分となっています。また、液状化の可能性もあります。

津波の浸水域は、はりまや橋小学校区全てに及んでおり、小学校区内の全ての方が避難の必要があります。

なお、地区の浸水が生じるのは、校区北西側（高知城周辺など）では60分以上の時間がありますが、江ノ口川にはこの時間以前に津波が遡上してきますので、川には近づかないようにする必要があります。

また、地震の大きな揺れにより家屋などに被害が生じ、液状化により道路が被害を受けることが考えられます。このような状況の中では、計画どおりの津波避難ができない可能性があります。

表 3-3 はりまや橋小学校区における地震・津波の最大予測（高知県：平成24年12月）

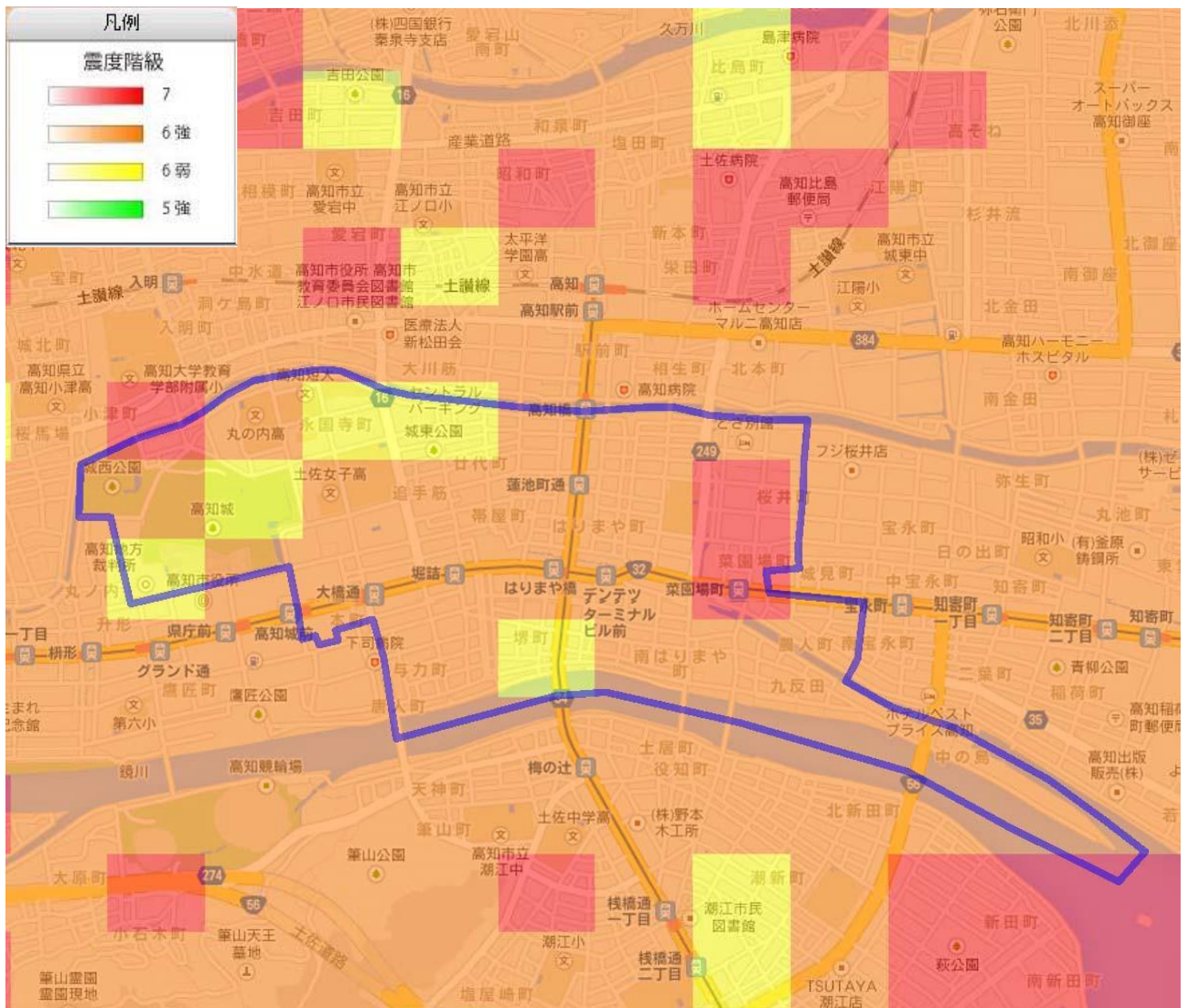
	最大予測値	地区
最大震度	震度7	震度6弱～震度7
最大津波浸水深	3～5m	校区東側の一部、校区の大半は1～2m
最短津波到達時間	30～40分	校区北西の浸水開始は60分以上

震度7：耐震性の低い木造建物は傾いたり倒れたりするものが多く、耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがあります。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物も倒れるものが多くなります。

浸水深3m：木造家屋のほとんどが全壊します。

浸水深5m：2階建ての建物が水没します。

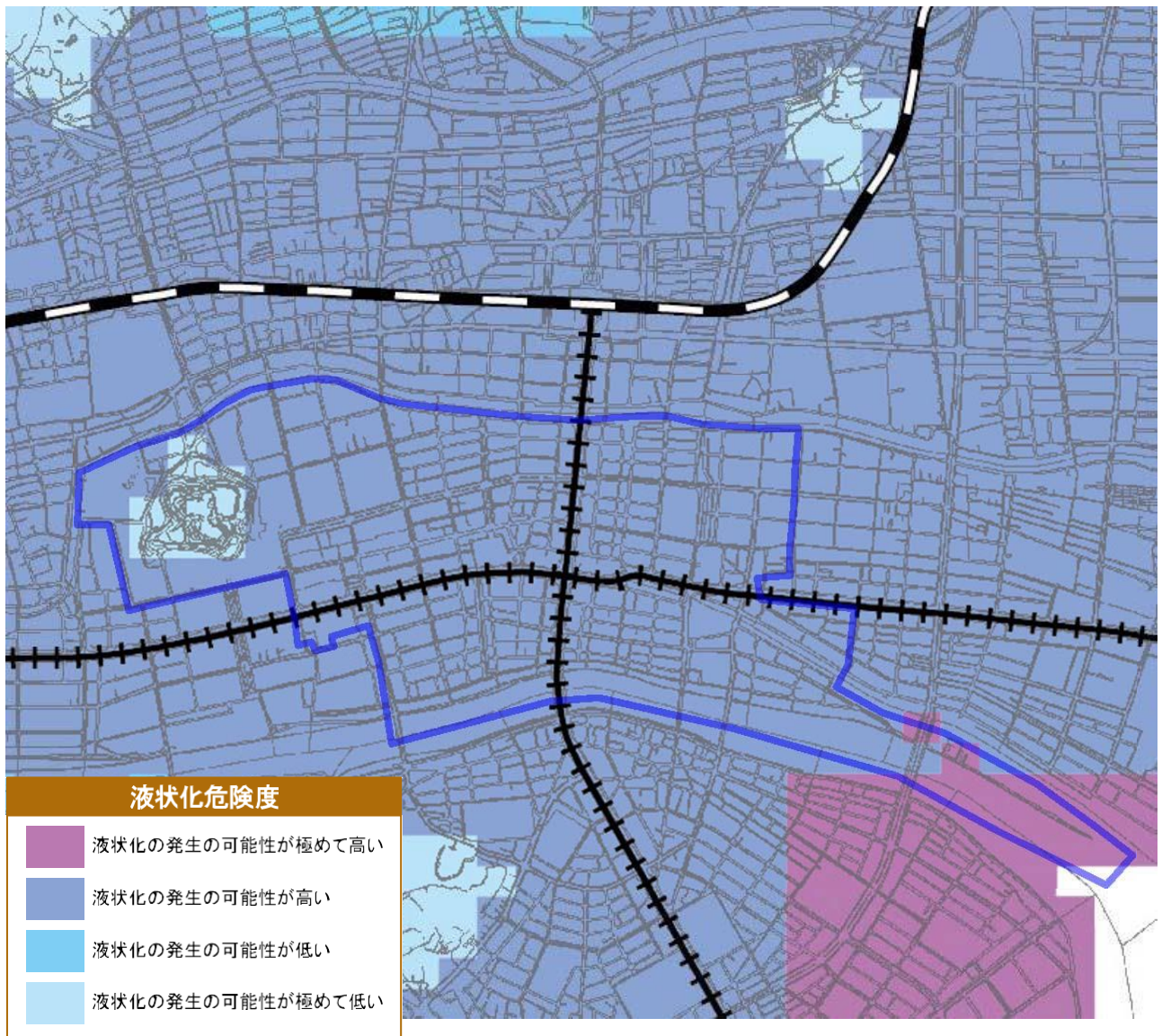
[はりまや橋小学校区の震度分布図]



(出典：高知県ホームページ グーグルマップによる被害想定結果)

図 3-6 はりまや橋小学校区の震度分布図

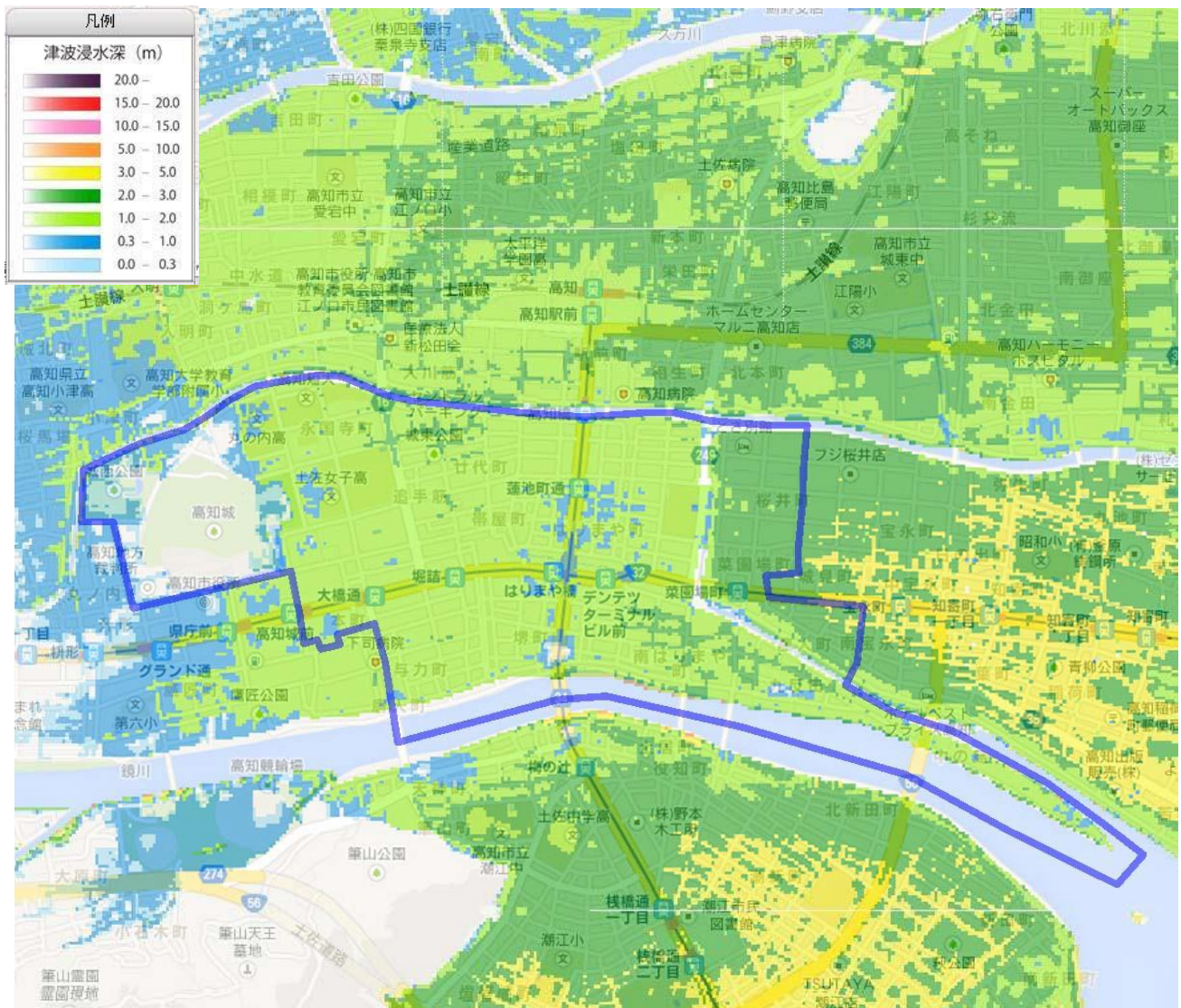
[はりまや橋小学校区の液状化危険度図]



(出典：高知市地震ハザードマップ 平成 23 年 5 月)

図 3-7 はりまや橋小学校区の液状化危険度図

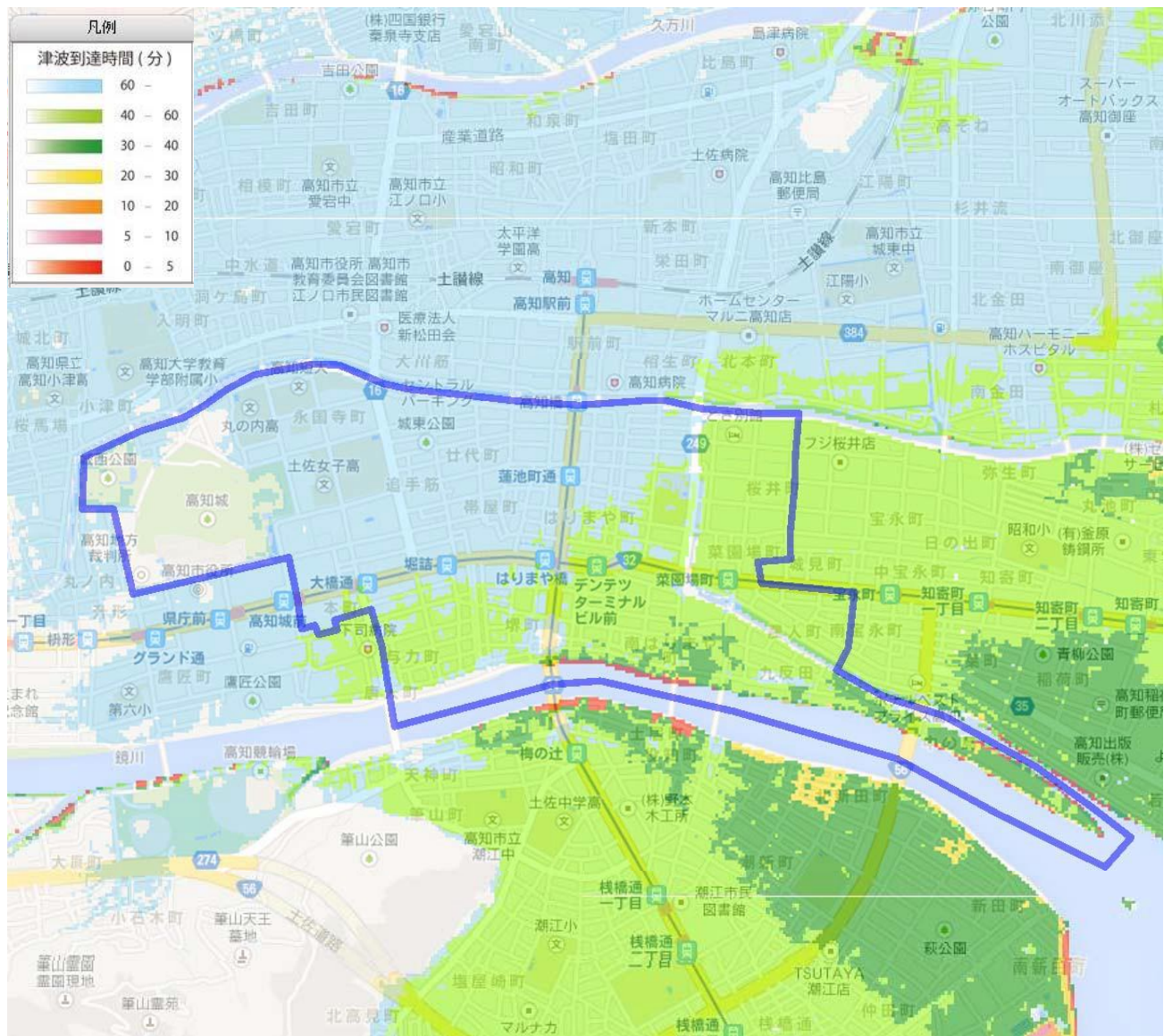
[はりまや橋小学校区の津波浸水予測図]



(出典：高知県ホームページ グーグルマップによる被害想定結果)

図 3-8 はりまや橋小学校区の津波浸水予測図

[はりまや橋小学校区の津波浸水予測時間図]



(出典：高知県ホームページ グーグルマップによる被害想定結果)

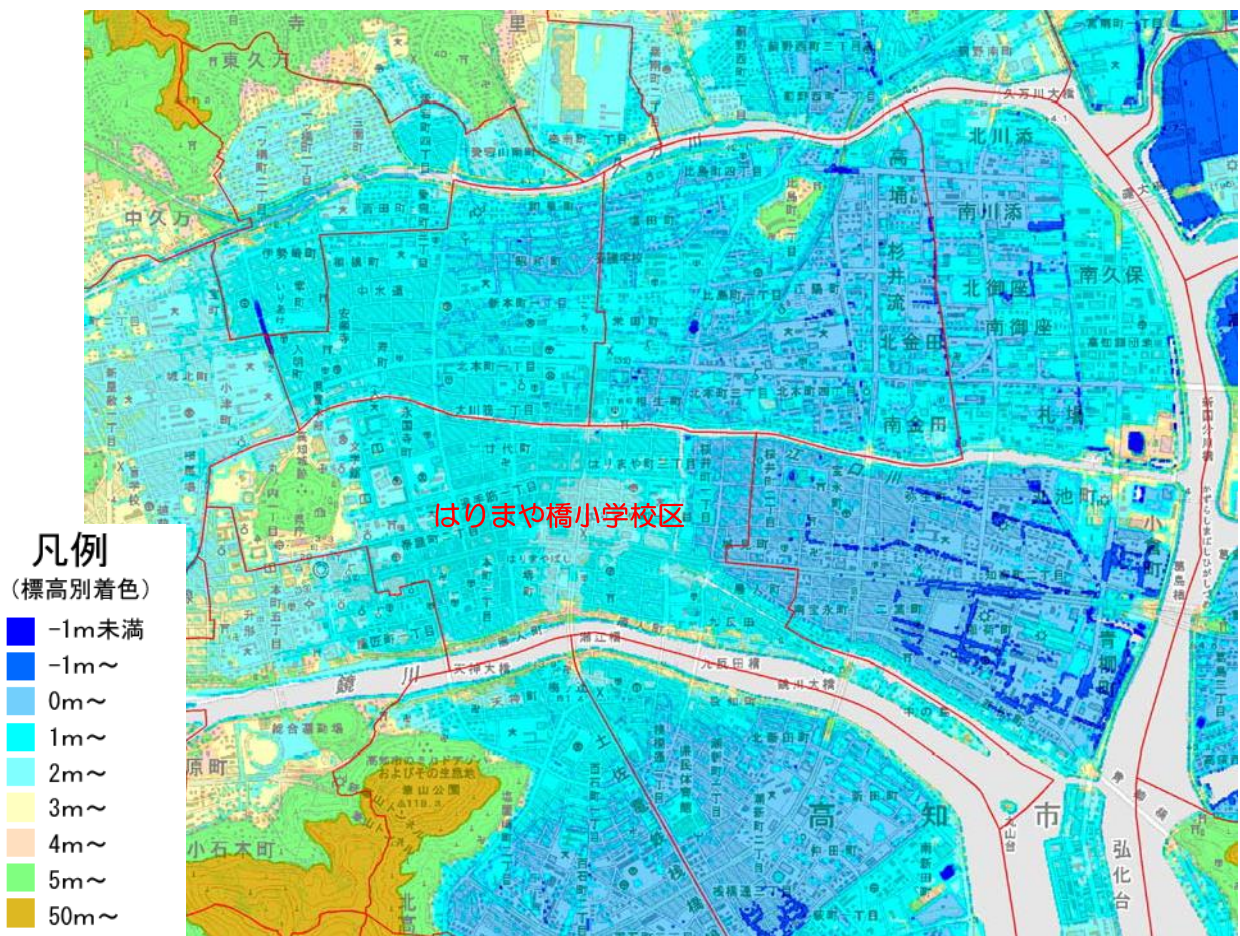
図 3-9 はりまや橋小学校区の津波浸水予測時間図

第4章 はりまや橋小学校区の概要

私たちの地区の現状は以下のとおりです。

第1節 地形特性

- (1) はりまや橋小学校区の範囲は、南北に最大1km程度、東西に最大3km程度であり、校区南側を鏡川が、北側を江ノ口川が流れています。
- (2) 校区の西端に高知城の高台があるものの、それ以外は平坦な平地となっており、標高は0～3m程度と低くなっています。
- (3) 校区周辺の高台としては、西端の高知城のみであり、校区東側の農人町付近から高知城までは直線距離で約2kmあります。
- (4) 平地部は、河川の堆積作用によって形成された低地（氾濫平野）に盛土をして形成されています。



(出典：国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル）より作成)

図4-1 はりまや橋小学校区周辺の標高分布



(出典：地理院地図「土地条件図」)

土地条件図は、防災対策に必要となる自然条件の基礎資料として、地形分類（山地・丘陵、台地・段丘、低地、水部、人工地形など）について示したものです。

図 4-2 はりまや橋小学校区周辺の地形の成り立ち

第2節 社会環境

- (1) 校区の世帯数は 5,295 世帯、人口は 8,539 人（令和5年4月1日現在）であり、人口は高知市全体の約 2.7%（同）を占める状況です。
- (2) 高齢者率は 31.6%（令和5年4月1日現在）であり、高知市全体の平均 30.6%（同）より高くなっています。特にはりまや町2丁目、菜園場町、城見町、帯屋町1丁目、帯屋町2丁目、本町3丁目では40%を超えています。

表 4-1 はりまや橋小学校区の世帯数と人口（令和5年4月1日現在）

校区	世帯数 (世帯)	人口(人)			高齢化率
			幼年人口 (15歳未満)	高齢者人口 (65歳以上)	
はりまや橋小学校区	5,295	8,539	801	2,696	31.6%
はりまや町1丁目	261	411	31	132	32.1%
はりまや町2丁目	183	266	6	118	44.4%
はりまや町3丁目	410	746	106	172	23.1%
永国寺町	210	327	30	115	35.2%
丸ノ内1丁目	57	101	13	33	32.7%
丸ノ内2丁目	92	168	27	44	26.2%
九反田	497	825	77	274	33.2%
菜園場町	127	208	12	94	45.2%
堺町	169	236	16	87	36.9%
桜井町1丁目	635	1,033	97	289	28.0%
桜井町2丁目	716	1,208	141	346	28.6%
城見町	159	286	28	116	40.6%
帯屋町1丁目	91	171	18	79	46.2%
帯屋町2丁目	156	249	20	113	45.4%
中の島	223	387	43	103	26.6%
追手筋1丁目	98	169	14	55	32.5%
追手筋2丁目	52	77	4	29	37.7%
唐人町	203	357	46	99	27.7%
南はりまや町1丁目	209	292	20	95	32.5%
南はりまや町2丁目	290	475	49	127	26.7%
廿代町	516	729	40	277	38.0%
農人町	172	288	48	59	20.5%
本町1丁目	146	242	26	79	32.6%
本町2丁目	186	334	38	61	18.3%
本町3丁目	230	349	28	146	41.8%
与力町	260	379	24	131	34.6%

(出典：高知市総務課調査統計担当)

注) 複数の校区に跨る町丁目については、校区外の人口を含むため、校区合計とは一致しない。

- (3) 高知市の中心市街地であるため、事業所などが多くあるとともに、買い物客や観光客など校区外からの来訪者も多く、夜間人口に比べ昼間人口が多い傾向にあります。
- ※ 平成 19 年度（第3回）高知都市圏パーソントリップ調査では、都市部（旭、江ノ口・小高坂、高知駅、本町・はりまや、下知北、下知南）では9時以降の滞留人口が増加し、9～15 時台は夜間人口の約 1.4 倍の滞留人口になります。
- (4) 国道 32 号など幹線道路が通過しており、自動車の交通量が多く、朝夕の時間帯は渋滞が発生しています。
- (5) 帯屋町商店街などアーケードが整備された中心繁華街があり、多くの人でにぎわっています。
- (6) 旧耐震基準（昭和 56 年以前）に基づく木造家屋が本地区全体では 23%程度分布しており、一部（菜園場町、桜井町 1 丁目、農人町、与力町）では4割以上分布しています。（平成 28 年 3 月時点）
- (7) 保育園が 2 園、認定こども園が 1 園、小学校が 1 校、中学校が 1 校、高等学校が 3 校あります。

表 4-2 はりまや橋小学校区内の保育所、幼稚園、小中高校

名称	児童・生徒数又は定員
南街保育園	90 人
さえんば保育園	170 人
桜井幼稚園	165 人
はりまや橋小学校	446 人
土佐女子中学校	349 人
高知追手前高等学校	701 人
高知丸の内高等学校	476 人
土佐女子高等学校	453 人

（出典：高知市保育幼稚園課
高知市教育委員会学校教育課
高知県教育委員会高等学校振興課
高知県私学・大学支援課

令和 5 年度 高知市内施設一覧
令和 5 年度 高知市立学校 学校別児童・生徒数・学級数について
令和 5 年度 高知県立高等学校 学校概要
令和 5 年度 私立学校名簿）

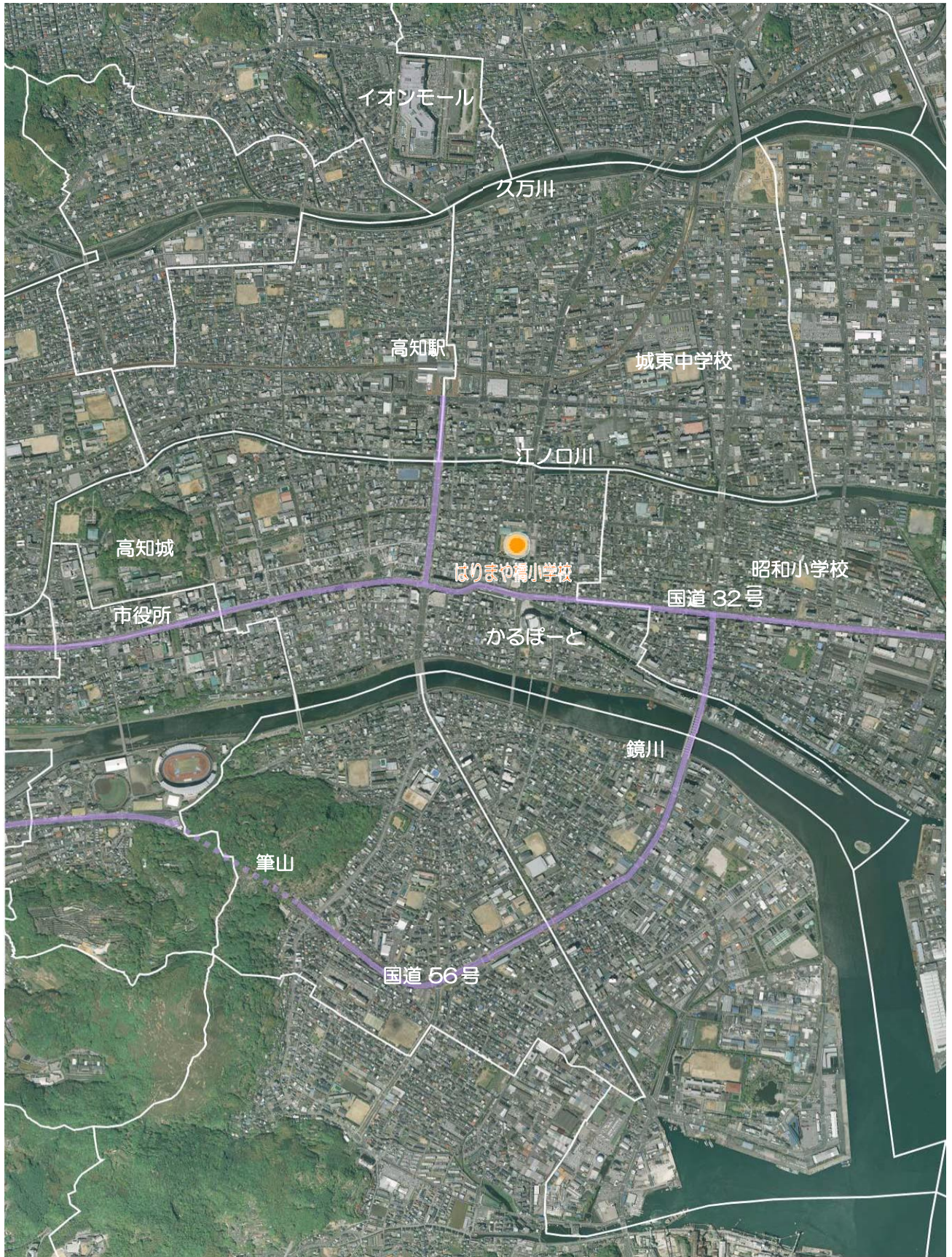


図 4-3 はりまや橋小学校区の航空写真

平成 25 年 4 月撮影

第5章 はりまや橋小学校区の津波避難の考え方

第1節 避難行動の考え方

(1) 避難行動の基本方針

ポイント

- **緊急避難場所を選択する優先度**
 - 1 津波浸水想定区域外
 - 2 自然地形の高台(高知城など)
 - 3 指定避難所を兼ねる津波避難ビル
 - 4 津波避難ビル
- **緊急避難場所や津波避難経路は、津波避難時における様々な状況を考慮して、避難先・津波避難経路について複数の選択肢を確認**

*指定避難所：災害が発生し、避難が必要となった方々が一定期間生活を送る場所（学校など公共施設を指定）

*津波避難ビル：津波浸水からの緊急避難のために、高知市津波避難ビルガイドラインに則って指定した人工構造物

津波からの避難は、できるだけ早く、少しでも高いところへ逃げることが基本となります。地震発生時は、建物被害等による逃げ遅れや、道路被害等による避難速度の低下など、様々な状況が想定されます。

津波避難時における様々な状況を考慮して、避難先・津波避難経路について複数の選択肢を持っておくことも重要です。例えば、はりまや橋小学校区では中心繁華街を通過して高知城へ避難することも考えられますが、アーケードの倒壊などにより通れないことも考えておく必要があります。

様々な状況とは？

- 避難先について・・・自然地形の高台→地震による土砂災害で緊急避難場所が崩れているかもしれない
津波避難ビル →建物や階段が壊れているかもしれない
すでに避難者で満員になっているかもしれない
- 津波避難経路について・・・橋が壊れて通れないかもしれない
家屋、ブロック塀、電柱の倒壊で道が塞がれているかもしれない
液状化により、道が通れなくなっているかもしれない
停電で信号が停止して、道路が渡れないかもしれない など

はりまや橋小学校区の緊急避難場所は、高知城などの自然地形の高台と、市が指定した津波避難ビルがあります。また、逃げ遅れた場合には、最終手段として指定されたビル以外の建物など、少しでも高いところへ逃げる必要があります。高知市では、緊急避難場所を選定する優先度として以下のように推奨しています。

表 5-1 緊急避難場所のメリット・デメリット

優先度	緊急避難場所	メリット	デメリット	はりまや橋小学校区での該当箇所
1	津波浸水想定区域外	<ul style="list-style-type: none"> 避難可能人数の制限がない 長期浸水の影響を受けない 指定避難所等への自力移動が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 避難移動距離が最も長くなることが多い 	該当なし
2	自然地形の高台	<ul style="list-style-type: none"> 避難可能人数の制限がない 長期浸水時でも山伝いにさらなる避難が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 地震による土砂災害の影響がある（本震・余震） 雨・風の影響を受ける 	高知城（表 5-2 参照）
3	指定避難所を兼ねる津波避難ビル	津波避難ビルのメリットに加えて、 <ul style="list-style-type: none"> 一定期間避難生活を送ることがあらかじめ想定されている 収容人数が比較的多い 	<ul style="list-style-type: none"> 長期浸水時に自力での移動が困難 	はりまや橋小学校 かるぼーと 高知丸の内高等学校 高知追手前高校 高知県立大学永国寺キャンパス （表 5-3 参照）
4	津波避難ビル	<ul style="list-style-type: none"> 避難移動距離が最も短くなるケースが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 収容人数（スペース）に制限がある 地震により施設が被害を受ける可能性がある 長期浸水時に自力での移動が困難 	校区内に 32 箇所（表 5-3 参照）

また、高知市では広域的な地盤沈下により、浸水が長期化するおそれがあります（長期浸水）。浸水域内にとどまることは長期浸水域内で孤立する可能性があるため、緊急避難場所を選定する優先度として以下のように考えられます。

【はりまや橋小学校区における避難の優先度】

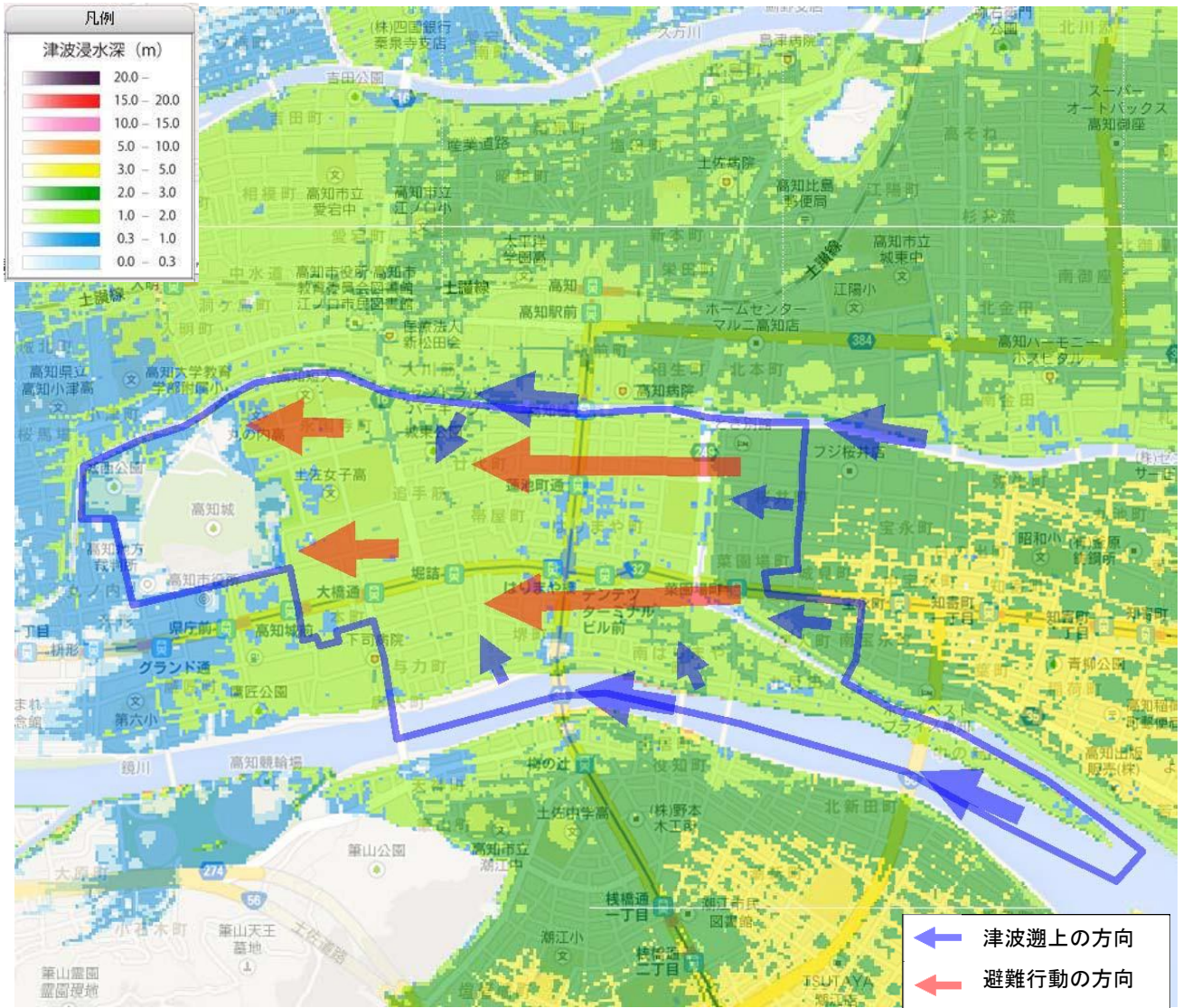
- 避難時間や距離から考えて、できる限り自然地形の高台(高知城)や各地区の津波避難ビルに避難しましょう

(2) はりまや橋小学校区の避難行動の考え方

ポイント

- ・ 鏡川や江ノ口川から離れるとともに、西方向や高台へ向かって避難
- ・ 津波避難ビルや高台などの安全な場所へ避難
- ・ 津波到達まで、30～40分以上あるが、避難に使える時間は15～20分しかない
- ・ 津波は長時間繰り返すため、一度避難したら自分の判断では戻らない
- ・ 避難は原則徒歩

- ① はりまや橋小学校区は、全域が津波浸水想定区域となっています。校区全域で津波からの避難が必要となります。
- ② 津波の浸水は、鏡川や江ノ口川からと校区東側（昭和小学校区）からの浸水が想定されています。このため、基本的な避難行動は鏡川や江ノ口川から離れるとともに、西方向や高台へ向かって避難することが重要です。
- ③ 浸水しない高台は校区西端の高知城だけであるため、高台まで逃げる余裕がないときは、近くの津波避難ビルに避難します。
- ④ 津波到達時間については、はりまや橋小学校区内では30～40分となっており、避難に使える時間は15～20分しかありませんので、速やかに落ち着いて避難行動をとるようにします。
- ⑤ 津波は長時間繰り返すので、一度緊急避難場所まで避難したら、警報や注意報が解除されるまで自分の判断では戻らないようにします。
- ⑥ 建物やブロック塀の倒壊、看板やアーケードの落下、火災の延焼、液状化による道路被害や橋の落橋も考えられるので、計画どおりの行動ができないことも考慮しておきます。
- ⑦ 自動車を用いた避難は、道路の被災や渋滞の発生などで安全に避難できないため、徒歩による避難を原則とします。



(出典：高知県ホームページ グーグルマップによる被害想定結果)

図 5-1 はりまや橋小学校区で想定される津波遡上と避難行動の方向

○ 避難に使える時間の考え方

避難に使える時間は、「津波浸水予測時間」から「避難開始までに必要な時間」及び「高所までの避難時間」を引いて算出しました。

「津波浸水予測時間」は、地震発生後、**津波により地面から 30cmの高さまで浸水する時間**のことで、はりまや橋小学校区の鏡川沿いでは地震発生後最短で **30分**です。

「避難開始までに必要な時間」は、東日本大震災では平均5分でしたが、地震が夜間に発生した場合も考慮して、本計画では避難行動開始まで約 10分と想定します。

また、緊急避難場所・津波避難ビルへ上がる時間（「高所までの避難時間」）が約5分かかるものと考えます。

そのため、地震発生から緊急避難場所までの**避難に使える時間（避難可能時間）**は、津波浸水区域外へ避難する場合は、津波浸水予測時間 30分から 10分を引いた **20分**、高台や津波避難ビルに避難する場合は、さらに5分を引いた **15分**となります。

なお、徒歩による避難速度を 0.6m/秒（36m/分）とした場合、15～20分間での**避難可能距離は約 540～720m**となります。

ただし、道路の通行障害や要支援者の支援などにより、必ずしもこの距離を避難することができるとは限りません。

津波浸水想定区域外への避難

避難開始までに必要な時間 A=10分

津波浸水予測時間 B=30分

避難可能時間 C=20分

避難速度 36 (m/分)

移動可能距離 L=36×20=720m

自然地形の高台・津波避難ビルへの避難

避難開始までに必要な時間 A=10分

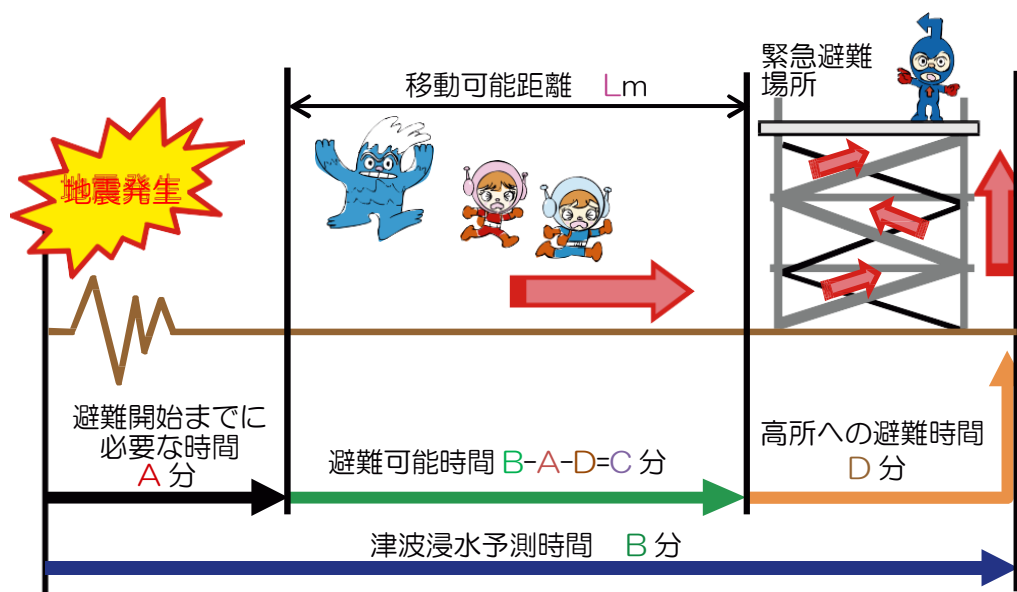
津波浸水予測時間 B=30分

高所への避難時間 D=5分

避難可能時間 C=15分

避難速度 36 (m/分)

移動可能距離 L=36×15=540m



(出典：地域津波避難計画点検マニュアル 平成 25 年 12 月 高知県)

第2節 緊急避難場所

私たちの地区の緊急避難場所は次のとおりです。地震が発生したら高台や近くの緊急避難場所に避難します。

※各緊急避難場所・ビルの位置は津波避難マップを参照。

※表中の『指定避難所』と記載した箇所は、災害が発生し、避難が必要となった方々が一定期間生活を送る場所（学校など公共施設を指定）です。

(1) 自然地形の高台

表 5-2 自然地形の高台一覧

緊急避難場所	標高 (m)	避難場所の状況	避難経路の状況
高知城 	31m (三の丸) 40m (二の丸)	高知公園の広場 土砂災害に注意	階段が多い 

(2) 津波避難ビル

高知市では、以下のような条件を満たす建物で、所有者やお住まいの住民の同意を得て協定を締結した建物を、津波避難ビルとして指定しています。

【津波避難ビルの指定条件】

- ① 昭和56年6月以降に新耐震基準で施工された建物、あるいはそれ以前の建築でも既に耐震改修を行っている建物
- ② 原則として鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建物
※ ただし、津波浸水想定、地域の状況等によっては鉄骨造他の建物も認めることができる。
- ③ 3階以上の建物で、3階の屋上あるいは4階以上の高さの避難スペースがある建物
※ ただし、津波避難可能区域の外にある区域等、特別な事情がある場合は、津波浸水深から3m以上の高さに避難場所が確保できる建物についても対象とすることができる。
- ④ 365日24時間、避難が可能である建物
- ⑤ 津波に対して一定の安全性が確認できた建物

はりまや橋小学校区内には、37か所の津波避難ビルがあり、収容人数は約30,407人となっています。

ビル・マンション等所有者の皆様へ

高知市地域防災推進課

「津波避難ビル」指定事業にご協力ください

東日本大震災では、津波によって、標高の低い地域を中心に甚大な被害を受け、一部の地域では地盤沈降に伴う浸水によって、一時的に孤立した場所が発生しました。高知市中心部にも、標高が低いことに加えて、自然の高台が遠いことから避難が困難で、地盤沈降に伴う浸水によって孤立化する危険性のある地域が存在します。こうした地域におられる方々の命を守るためには、丈夫で高層な建物の所有者の皆様には、周辺住民の一時的な避難についてご協力をお願いいたたく存じます。また、地盤沈降の状況によっては、しばらくの間浸水が解消しない事も考えられることから、こうした状況になった場合を想定した資機材の提供も行いますので、ご検討のほど宜しくお願いいたします。



甚大な津波被害があった南三陸町で町民の命を守った住宅



津波浸水後、地盤沈降により周辺が浸水した石巻市内の住宅



津波避難ビルの表示看板

《津波避難ビル指定後の支援》

- ①: 簡易トイレを支給します(簡易トイレ本体、パーソナルテント、処理剤)
※ 低層階にお住まいの方で被災された方や周辺住民で避難されて来られた方が建物を汚すことなく用を足せる環境をつくります。また、断水等でトイレが使用できない場合、上層階にお住まいの方もご活用頂くことができます。
- ②: 強化ゴムボートを支給します(ゴムボート、救命胴衣、ヘルメット、ロープ)
※ 浸水後水が引かない場合に用いる最低限の移動連絡手段を確保するため、4人乗りゴムボートを配置します。
(ただし、使用の際、絶対の安全を保証するものではありません)
- ③: より早期な救助・救出のため、関係機関に対して事前周知します
※ 津波被災後の救助活動を円滑に行うために、避難ビルとして指定が完了した施設を関係機関に対して周知し、円滑な救助・救出ができるよう体制を整えます。

☆市民に周知する避難場所は、所有者の皆様にご迷惑をおかけしないよう、基本的に廊下やエレベータホール等の共用部分のみといたします。

表 5-3 津波避難ビル一覧（はりまや橋小学校区内）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
1	はりまや橋小学校 （指定避難所） 	鉄筋コンクリート造 4階建	校舎4階及び 屋上（放送室を 除く）	1,570人	
2	高知県庁北庁舎 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階廊下、 休養室、 打合せ室 及び屋上	129人	警備員の誘導指示を 守り、パニックに陥 ることなく、冷静に 行動していただきたい。
3	かるぼーと （指定避難所） 	鉄筋コンクリート造 11階建	3階、 7階～11階 廊下、ロビー等 共用スペース	2,049人	
4	高知丸の内高等学校 （指定避難所） 	鉄筋コンクリート造 4階建	南校舎4階及び 北校舎4階	1,345人	生徒在校時は、生徒 は南舎（教室棟）を 避難場所としている ため、避難者は北舎 を基本にお願いした い。
5	ウェルカムホテル高知 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 10階建	4階以上廊下、 10階	927人	

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
6	高知パレスホテル新館 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 10階建	4～10階廊下	577人	
7	高知パレスホテル 禁煙館 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 8階建	4～8階廊下	160人	
8	高知県庁本庁舎 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 6階建	4階以上廊下、 屋上	2,681人	警備員の誘導指示を守り、パニックに陥ることなく、冷静に行動していただきたい。
9	APパーク高知 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	4階以上	1,980人	通行車両及び駐車車両に注意願いたい。
10	サウスブリーズホテル 	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ造 8階建	4階以上廊下等 共用スペース、 8階リネン室、 脱衣場、屋上	418人	
11	高知地方裁判所 	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ造 地上6階建	4階以上廊下 及び エレベーター ホール	862人	職員の指示に従ってください。所定の避難場所以外には立入らないようにしてください。

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
12	J・ビルディング 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 及び屋上	137人	住人への配慮をお願いします。
13	土佐塾本館 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 7階建	7階テラス	143人	
14	LB-1 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 11階建	4階以上廊下	66人	
15	伊予銀行高知支店 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 一部鉄筋 コンクリート造 3階建	屋上	163人	
16	ビ・ウェル播磨屋 	鉄筋コンクリート造 10階建	4階以上廊下	120人	万一、マンションの 部屋が開いていて も、勝手に入らない ようお願いします。

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
17	OMO7 高知 by 星野 リゾート 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地下1階 地上22階建	3階大宴会場 及びロビー、 5階レストラン 及び廊下、 6階待合ホール 及び廊下	1,467人	
18	高知追手前高等学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	新館4階教室 及び廊下	547人	夜間に進入する際は、暗いので階段・段差等に注意を払ってください。 学校備品・戸棚の中などの物には必要以上に触れないでください。
19	帯屋町チェントロ 	鉄筋コンクリート造 14階建	4階テラス	335人	
20	ピッコロビル 	鉄骨造 3階建	3階屋上避難 スペース	52人	
21	サーパス中の島 桜通り 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下	295人	

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
22	北街ビル 	鉄骨造 5階建	4階以上廊下 及び屋上	112人	
23	サーパス城見 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下 及びエレベーターホール	162人	
24	土佐塾予備校 SEIZO館 	鉄骨造 6階建	4階以上 及び屋上	325人	
25	ピ・ウェル新堀 	鉄筋コンクリート造 14階建	4階以上廊下	297人	
26	高知県立高知城歴史 博物館 	1階： 鉄筋コンクリート造 2・3階： 鉄骨鉄筋 コンクリート造、 一部鉄骨造 3階建	3階避難スペース	151人	
27	123+Nはりまや橋店 	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 地下1階 地上6階建	立体駐車場 4階以上	9,493人	

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
28	オーテピア 	鉄骨鉄筋 コンクリート造、 鉄筋コンクリート造、 鉄骨造 地下1階 地上9階建	3階：EVホール 及び視聴コーナー 4階：EVホール 及び廊下、研修 室、集会室、学 習室、救護室、 ホール、テラス、 休憩コーナー M5階：廊下 及び学習・研究室 5階：EVホール 及びプラネタリウム 屋上	1,910人	
29	ロイヤルガーデン はりまや町 	鉄筋コンクリート造 15階建	4階以上廊下	168人	
30	百十四銀行高知支店 	鉄筋コンクリート造 3階建	3階屋上津波 避難スペース	50人	
31	ライオンズマンション 高知桜井町 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 14階建	4階から14階 までの廊下及び エレベーターホール	121人	
32	ビ・ウェルおびさん ロード 	鉄筋コンクリート造 13階建	4階以上共用 廊下	170人	

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
33	高知県立大学永国寺 キャンパス (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階廊下	968人	
34	ビ・ウェル九反田 【RIVER FRONT】 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下	170人	
35	岡村ビル 	鉄筋コンクリート造 9階建	屋上	58人	
36	ビ・ウェル播磨屋 式番館 	鉄筋コンクリート造 14階建	4階以上廊下	99人	
37	ビ・ウェル京町 	鉄筋コンクリート造 14階建 地下1階	4階～14階廊下	131人	

※収容可能人数は、各ビルの避難場所の収容可能人数


表 5-4 津波避難ビル一覧（はりまや橋小学校区外）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
1	ホテルロス・イン高知 (江陽小学校区) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下 及びベランダ	178人	ホテル担当者の指示に従ってください。
2	高知龍馬ホテル (江陽小学校区) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下	134人	宿泊者に気遣い頂きたい。
3	オリエントホテル高知 和風別館吉萬 (江陽小学校区) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下	105人	ホテル従業員の指示に従ってください。
4	高知さくらホテル (江陽小学校区) 	鉄骨造 5階建	4階廊下及び ベランダ、 5階廊下、 屋上	54人	
5	高知中央郵便局 (江ノ口小学校区) 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階ホール 及び廊下、 5階廊下、 屋上	1,226人	建物内では社員等の指示に従い、避難をお願いします。

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
6	高知情報ビジネス& フード専門学校 (江ノロ小学校区) 	鉄骨鉄筋コン クリート造 本館9階建 1号館7階建	本館：4階から 8階の廊下及び 教室、 9階資料室及び バルコニー 1号館：4階以 上廊下及び教室	1,631人	
7	龍馬看護ふくし専門学校 (江ノロ小学校区) 	鉄骨造 6階建	6階講堂	158人	地震の後はガラス 片等危険ですか ら、足元には十分 注意してください 。また、外の教 室は利用しないで ください。
8	江ノロコミュニティセンター (江ノロ小学校区) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下及び エレベーターホール、 4階和室、会議室、 5階大ホール、 屋上	584人	
9	エレガント大川筋 (江ノロ小学校区) 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下 及びエレベ ーターホール	150人	
10	ピ・ウェル高知城公園 (小高坂小学校区) 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下	129人	備蓄品はありませ ん。避難時は各自 の飲用水等を用意 してください。

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
11	高知市役所本庁舎 (第六小学校区) 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 鉄骨造 鉄筋コンクリート造 (地下1階 柱頭免震構造) 地下1階 地上6階建	3階～6階通路	2,061人	
12	高知市役所第二庁舎 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 3階建	屋上	882人	
13	高知市役所たかじょう庁舎 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下 等共用スペース、会議室及 び屋上	873人	
14	高知県庁西庁舎 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下 及び屋上	348人	警備員の誘導指示 を守り、パニック に陥ることなく、 冷静に行動してい ただきたい。
15	県民文化ホール (第六小学校区) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階会議室、 大会議室、和室 及び廊下等 共用スペース、 屋上	1,903人	屋上避難の場合 は、雨・風にさら されることと照明 がないことをご理 解いただきたい。

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
16	オリентホテル高知 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 10階建	4階以上廊下 及びベランダ、 屋上ホール	679人	災害時は、ホテル の従業員の指示に 従ってください。
17	ザ クラウンパレス 新阪急高知 (第六小学校区) 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地下1階 地上13階建	5階ピアガーデン 及び和宴会場	700人	ホテル社員の指 示・誘導に従って ください。客室エ リアには立入禁 止。
18	高知会館 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨鉄筋 コンクリート造 地下1階 地上6階建	4階以上廊下 4階会議室及び テラス屋上	784人	宿泊客に迷惑がか からないように配 慮してください。
19	高知電気ビル (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下 及び共用部分	335人	
20	高知法務総合庁舎 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階及び 5階：エレベ ーターホール 6階及び 7階：エレベ ーターホール 及び会議室	323人	平日及び休祭日の勤務時 間外において、震度5以 上の地震が発生し、又は 気象庁から津波警報が発 令された場合は、正面門 扉付近に設置した赤色回 転灯が点滅するととも に、1階正面玄関が開錠 された音声放送が流れる ので、同門扉を手で広げ て当庁舎敷地内に入った 上、1階正面玄関から庁 舎内に避難してください。 その際、1階正面玄 関のドアは、開錠されて いますが閉じたままにな っているため、手で押し 広げて開窓してください。

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所	収容可能 人数	施設側からの 注意事項など
21	高知地方合同庁舎 (第六小学校区) 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階廊下及び ホール、 5階屋上、 6階ホール 並びに 塔屋ホール	455人	

※収容可能人数は、各ビルの避難場所の収容可能人数

第3節 津波避難経路

巨大地震が発生した場合、液状化、家屋倒壊、落橋、看板や電柱などの倒壊などにより道路が寸断され、津波避難経路として使用できなくなるおそれがあります。また、狭い道路に多くの人々が集中し、避難できなくなることも想定されます。

緊急避難場所があっても、津波避難経路が十分確保されていなければ避難は困難であることから、複数の津波避難経路を選定しておく必要があります。

はりまや橋小学校区における津波避難経路は、校区内の人家から緊急避難場所等に至る経路とし、現地調査を通じて校区内の津波避難経路を検証・選定しました。

その中で、避難行動が集中する主要な津波避難経路を以下のような条件を考慮しながら選定し、「校区内の軸となる主要津波避難経路」として、津波避難マップに記載しました。

【津波避難経路の選定にあたっての考え方】

- 緊急避難場所への最短経路
- 原則として津波遡上方向へ向かわない
- 道路幅員の広い（できれば6m以上）道路
- 閉塞等のリスクが少ない経路

また、避難行動における校区内のリスクとしては以下の事項が想定されます。

リスク要因	リスク理由	校区内の状況
ガソリンスタンド	危険物を取り扱う店舗	校区内に2軒点在
高圧送電線	断線等による通行の阻害	校区内には無
自動販売機	基礎杭の未設置による転倒等	校区内の自動販売機はほとんどが基礎杭により固定されており問題無
ガスボンベ	営業用等で屋外設置され安全の確保が未確認	商店などの道路沿いにガスボンベが多くみられるが、いずれも固定されている
広告塔（ポール）及び電柱	倒壊に伴う通行の阻害	道路沿いに点在
ブロック塀等の障害要因	倒壊に伴う通行の阻害	丸ノ内町などに点在

第4節 津波避難マップ

はりまや橋小学校区における緊急避難場所、主要津波避難経路を地図上に記載した「津波避難マップ」を作成しました。

このマップは、平成26年度に実施した、はりまや橋小学校区津波避難計画検討会に参加していただいた自主防災組織や住民の方がワークショップやフィールドワークにより確認して下さった結果に現地調査による津波避難経路としての確認情報をとりまとめた、「避難行動支援マップ」を参考に作られたものです。

地域の住民の皆さんは、このマップをもとにご自身の津波避難経路や緊急避難場所を確認していただき、日頃から防災を考える材料としてください。また、その経路を実際に歩いてみて、ご自身で確認したことや新たな緊急避難場所などを書き込んで、より良い津波避難マップを作り上げてください。

No. 13

はりまや橋小学校区

津波避難マップ 高知市

わが家の緊急避難場所を確認しよう



わが家の緊急避難場所	避難場所までの移動時間
第1候補	
第2候補	
メモ	

津波浸水予測

高知県が平成24年12月に公表した【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波浸水予測に基づいています。

津波浸水予測範囲

津波浸水予測時間

足を取られて動けなくなる高さの津波(浸水深30cm)がやってくる時間を示しています。

緊急避難場所

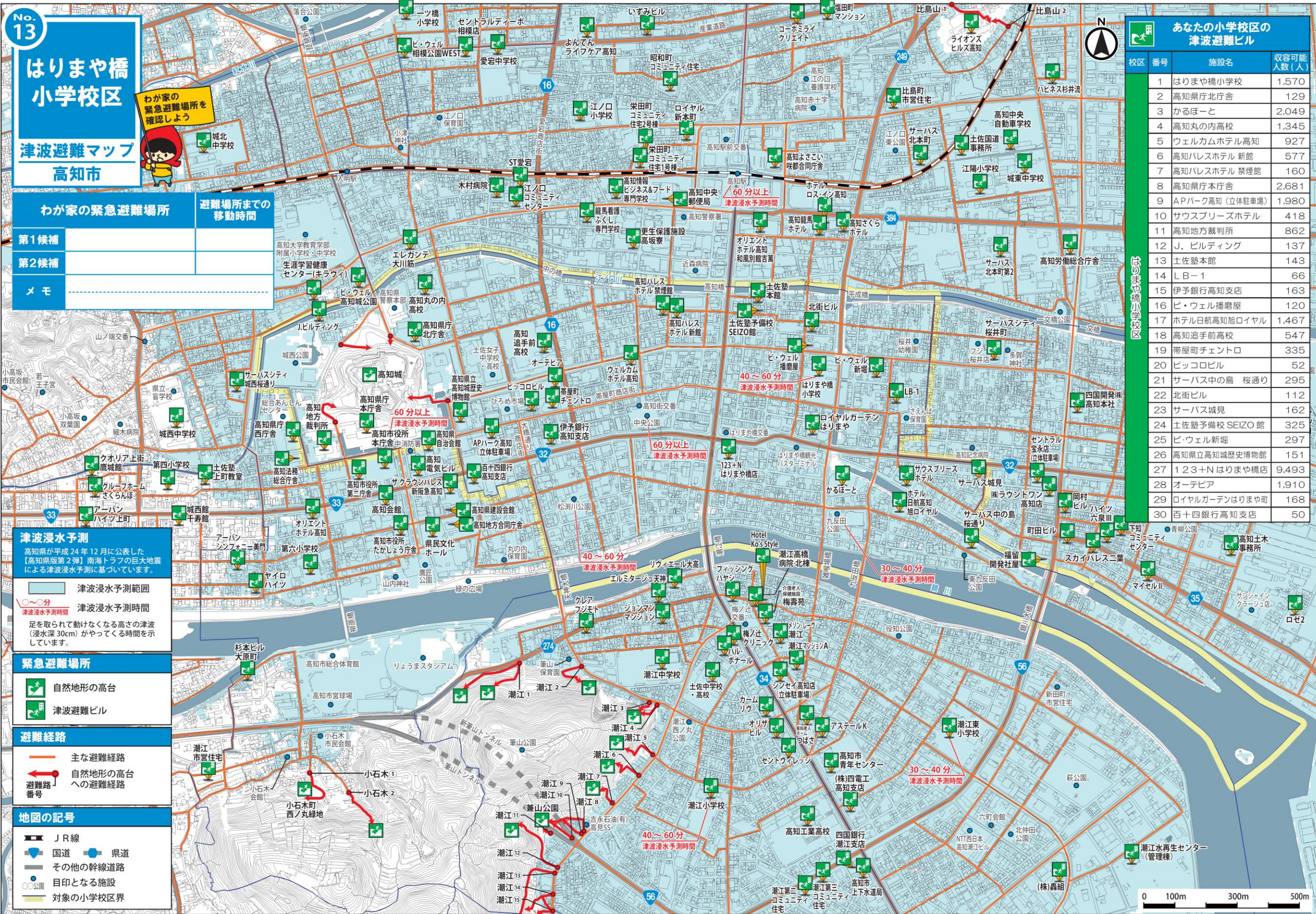
- 自然地形の高台
- 津波避難ビル

避難経路

- 主な避難経路
- 自然地形の高台への避難経路番号

地図の記号

- JR線
- 国道
- 県道
- その他の幹線道路
- 目印となる施設
- 対象の小学校区界



あなたの小学校区の津波避難ビル

校区	番号	施設名	収容可能人数(人)
1	1	はりまや橋小学校	1,570
2	2	高知県庁北庁舎	129
3	3	かるぼーと	2,049
4	4	高知丸の内高校	1,345
5	5	ウェルカムホテル高知	927
6	6	高知ハレスホテル 新館	577
7	7	高知ハレスホテル 禁煙館	160
8	8	高知県庁本庁舎	2,681
9	9	APパーク高知(立体駐車場)	1,980
10	10	サウスブリーズホテル	418
11	11	高知地方裁判所	862
12	12	J.ビルディング	137
13	13	土佐塾本館	143
14	14	LB-1	66
15	15	伊予銀行高知支店	163
16	16	ビ・ウェル播磨屋	120
17	17	ホテル日航高知旭ロイヤル	1,467
18	18	高知追手前高校	547
19	19	帯屋町チェントロ	335
20	20	ピッコロビル	52
21	21	サーバス中の島 桜通り	295
22	22	北街ビル	112
23	23	サーバス城見	162
24	24	土佐塾予備校 SEIZO 館	325
25	25	ビ・ウェル新堀	297
26	26	高知県立高知城歴史博物館	151
27	27	123+N はりまや橋店	9,493
28	28	オーテピア	1,910
29	29	ロイヤルガーデンはりまや町	168
30	30	百十四銀行高知支店	50



第2版：高知市 防災対策部 地域防災推進課 令和元年12月改定
 (初版発行：高知市 防災対策部 地域防災推進課 平成27年3月)

第6章 津波避難計画の検証

はりまや橋小学校区では、令和3年度にはりまや橋小学校区津波避難計画の検証を行いました。

令和3年12月に、はりまや橋小学校区防災連合会の役員及び役員を通じて商店街の方を対象にアンケートを配布し、津波避難に関する調査を実施しました。併せて、はりまや橋小学校にも協力いただき、同小学校の児童の保護者にアンケートを記入していただきました。

アンケートでは、発災後から避難までの時間や避難する場所へ行くまでの課題等の調査を行い、役員及び役員を通じてアンケートを配布した商店街の方、はりまや橋小学校の保護者の方合わせて約500枚を配布し、計285枚を回収しました。

The figure consists of two parts. On the left is a '防災アンケート' (Disaster Survey) form. It includes a title, a header with the school name, and several numbered questions (問6 to 問11) regarding evacuation routes, shelter locations, and household preparedness. On the right is a map of the Harimayabashi Elementary School District, showing the school's location and surrounding streets and landmarks.

図 6-1 令和3年度はりまや橋小学校区津波避難に関するアンケート

(1) アンケート回答者について

アンケート回答者のお住まいの地区について集計したところ、はりまや橋小学校区内であるとの回答が217回答、はりまや橋小学校区外との回答が68回答という結果でした。

特に、桜井町、帯屋町、はりまや町に住まわれているとの回答が多く、3地区を合計すると111名となり、はりまや橋小学校区内での回答としては過半数を占める結果となりました(図6-2参照)。

また、校区外の68回答については、北本町や知寄町のようなはりまや橋小学校区付近の回答や、介良、五台山、仁井田や南国市など、はりまや橋小学校区からは遠い地区に住まわれている方の回答も多くありました。今回のアンケートははりまや橋小学校に通う児童の保護者やはりまや橋小学校区防災連合会を通じて商店街の方にも調査を行っているため、仕事や学校のある時間帯には、校区外の方が一定数はりまや橋小学校区内にいたことがわかりました(表6-1参照)。

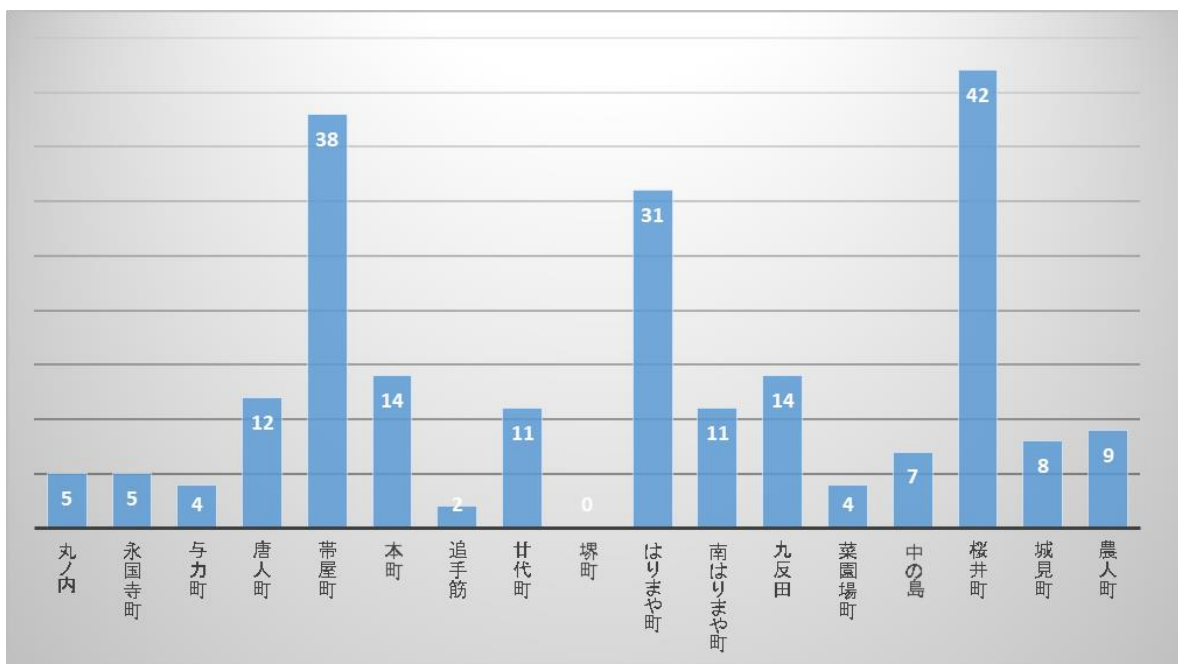


図 6-2 お住まいの地区について（はりまや橋小学校区内）

表 6-1 お住まいの地区について（校区外）

青柳町	1	大川筋	3	北川添	1	新本町	3	中秦泉寺	1	日の出町	1	南金田	1
薊野	2	大原町	1	介良	1	瀬戸東町	1	中水道	2	百石町	1	南竹島町	1
和泉町	1	葛島	1	五台山	1	鷹匠町	1	中宝永町	2	福井町	1	南宝永町	1
伊勢崎町	1	鴨部	3	栈橋通	4	高須	1	仁井田	1	二葉町	1	横浜新町	1
上町	1	神田	1	塩屋崎	1	知寄町	1	八反町	1	宝永町	2	南国市	2
海老ノ丸	1	北本町	7	新田町	1	天神町	2	一ツ橋町	1	みづき	1	記載なし	6

以降の検証結果については、この校区外の 68 名を除いた、はりまや橋小学校区内の 217 名の回答をまとめたものです。

（2）事前の備えについて

「非常用持ち出し袋の準備や、飲料水や食料などの個人備蓄を行っていますか」との質問に対しては、「はい」と答えた方が 59%と、半数以上という結果でした（図 6-3 参照）。

また、「はい」と答えた方が、個人備蓄は何を準備しているかについても回答を集計したところ、食料や水については 80 名を超える回答がありました。一方で、携帯トイレや生活用品の事前準備をしているとの回答はどちらも 5 名以下と少ない結果でした。加えて、個人備蓄は何日分の準備をしているかとの質問については、1 日から 3 日分準備しているという回答が合計 94 回答でした。対して、7 日以上準備をしているとの回答は 24 回答と、一定数長期の生活を見据えての備えをしている方がいることがわかりました（表 6-2 参照）。

こうした結果から、携帯トイレや生活用品など、避難後の生活が長期化した場合の備蓄についても、周知の必要性があると考えられます。

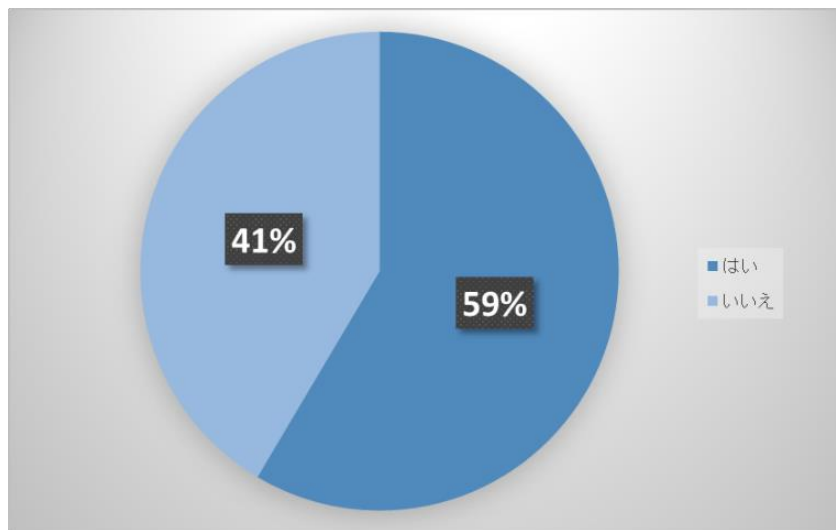


図 6-3 非常用持ち出し袋の準備や、飲料水や食料などの個人備蓄を行っているか

表 6-2 備蓄日数分について

何を準備していますか(複数回答可)

衣服	1	食料	84
懐中電灯	2	生活用品	4
ガスボンベ	1	トイレトペーパー	3
衣服	1	非常持ち出し袋	9
カセットコンロ	2	非常用電源	1
救急箱	2	防災セット	2
携帯トイレ	2	水	88
消毒シート	1	毛布	1

何日分準備していますか(複数回答可)

1日分	8	5日分	8
2日分	30	6日分	0
3日分	56	7日以上	24
4日分	1		

(3) 避難完了までにかかる時間について

アンケートでは、自宅から事前に決めている緊急避難場所に向かう時のことを想定し、避難のために家などの建物を出るまでにかかる時間及び家を出てから緊急避難場所へ避難するまでにかかる時間を記入してもらいました。それぞれの結果については、次ページ図 6-4、6-5 のとおりです。

家などの建物を出るまでにかかる時間について、10 分以内（5分以内、0分の回答を含む）との回答が 162 回答と、7割を超える結果となりました。

また、緊急避難場所までにかかる時間については、15 分以内（5分以内、0分の回答を含む）との回答が 208 回答で9割を超える結果となりました。

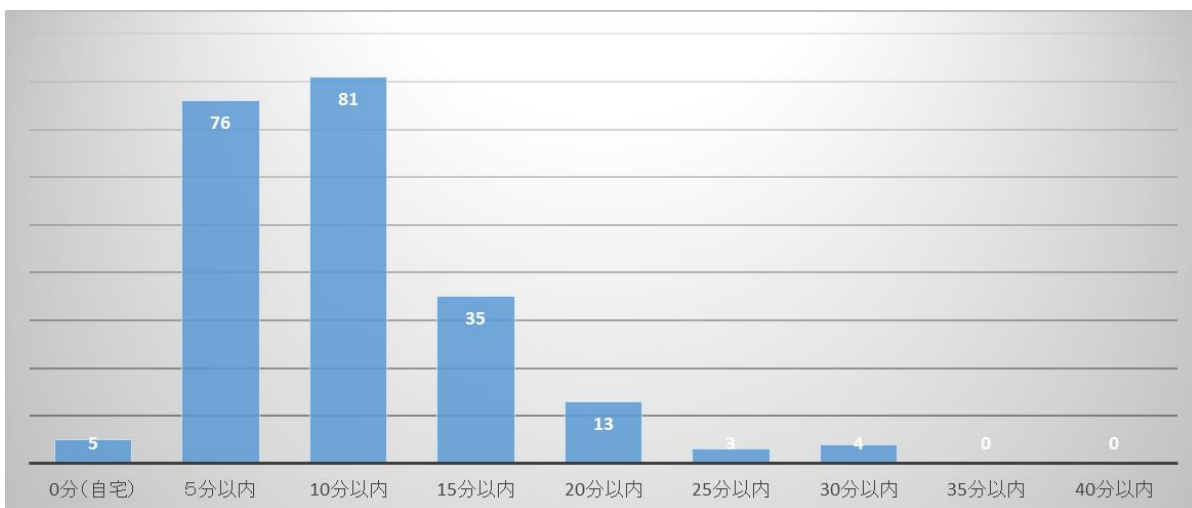


図 6-4 家などの建物を出るまでにかかる時間

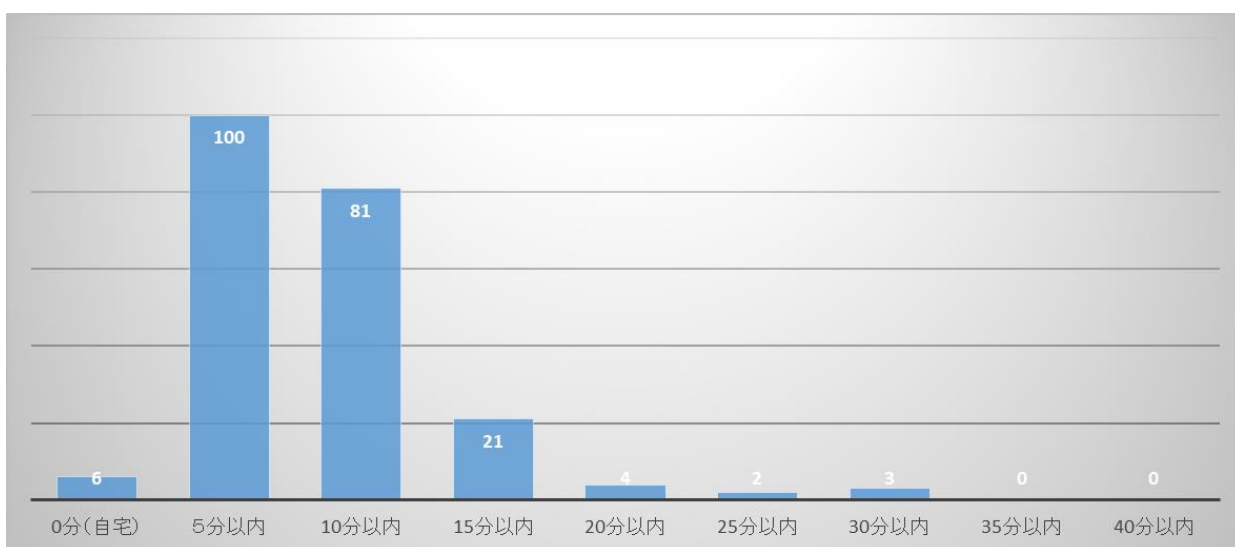


図 6-5 家を出てから緊急避難場所まで避難するときにかかる時間

家などの建物を出るまでにかかる時間及び緊急避難場所へ避難するまでにかかる時間を合計したもの（避難完了までにかかる時間）が、図 6-6 です。

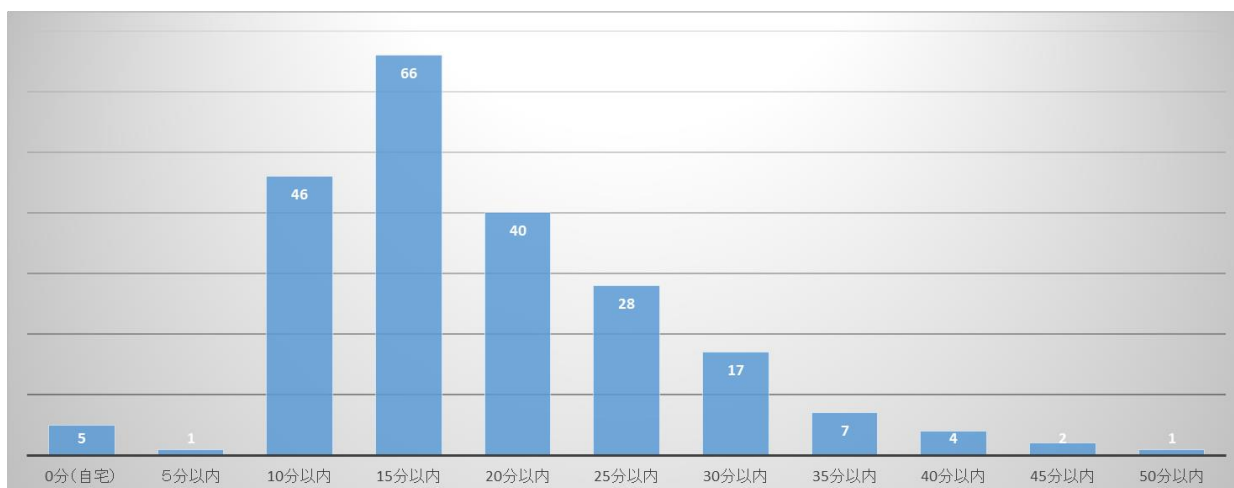


図 6-6 避難完了までにかかる時間について

はりまや橋小学校区の津波浸水予測時間は約 30 分のため、9 割以上の方が津波浸水予測時間内に避難できるとの結果になりました。

対して、避難完了までに 30 分以上の時間がかかっている回答も 14 回答あり、この 14 名の方については、避難に遅れが出る可能性があります。

30 分以上要した 14 名のうち、3 名は避難先として津波避難ビルなどの他に「自宅」も想定しているとの回答があり、実際には自宅に避難することによって、避難にかかる時間はより少なくなるものと考えられます。

それ以外の 11 名については、回答内容から自宅以外の場所へ避難すると想定されるため、津波浸水予測時間内の避難が困難な可能性が高いと考えられます（表 6-3 参照）。

表 6-3 津波浸水予測時間内の避難が困難な可能性が高い方のアンケート回答内容について

	住所	事前の備えをしているか	避難先	家を出るまでに かかる時間	避難場所まで 行く際にかかる時間	合計時間	避難の際不安なこと
家などの建物を 出るまでに かかる 時間が長い回答	帯屋町	はい	オーテピア	25	10	35	自宅の倒壊、火災、高齢者や障害者など支援が必要な方との避難、津波、避難路の閉塞(家屋やブロック塀の倒壊)
	帯屋町	はい	オーテピア	30	15	45	自宅の倒壊、家具の転倒、火災、ベッドの同行避難、津波、避難路の閉塞(家屋やブロック塀の倒壊)
	帯屋町	いいえ	高知城	30	15	45	自宅の倒壊、家具の転倒、火災、津波
	唐人町	いいえ	はりまや橋小学校 土佐中学校・高校	20	15	35	自宅の倒壊、火災、津波
	丸ノ内	いいえ	高知丸ノ内高校 高知県庁北庁舎	25	10	35	自宅の倒壊、家具の転倒、津波
緊急避難場所 までの移動時間 が長い回答	帯屋町	いいえ	高知城	10	25	35	自宅の倒壊、避難路の閉塞(家屋やブロック塀の倒壊)
	帯屋町	いいえ	高知城	10	30	40	家具の転倒、火災
	帯屋町	いいえ	高知城	10	30	40	津波、避難路の閉塞(家屋やブロック塀の倒壊)
どちらも 長い回答	帯屋町	いいえ	高知城	15	20	35	火災
	桜井町	いいえ	はりまや橋小学校	15	25	40	要支援者との避難、津波

本計画では、避難開始までに必要な時間を 10 分、高所への避難時間を 5 分とし、緊急避難場所までの避難に使える時間を 15 分と想定しています。これと照らし合わせると、11 名の回答は、家などの建物を出るまでにかかる時間が長い回答、緊急避難場所までの移動時間が長い回答、そのどちらも長い回答の 3 つに分かれることがわかりました。

家などの建物を出るまでにかかる時間が長い回答の方は 5 名おり、うち 3 名の方は事前の備えをしていないとの回答でした。また、5 名全員が避難の際不安なこととして「自宅の倒壊」を挙げていることがわかりました。

緊急避難場所までの移動時間が長い回答の方は 3 名でした。お住まいの地区から推測すると、比較的近い場所を避難先としていますが、避難時間がかかるとの回答となっていました。また、うち 2 名の方が避難の際不安なこととして「避難路の閉塞（家屋やブロック塀の倒壊）」を挙げていました。

家を出るまでにかかる時間及び移動時間どちらも長い回答の方は 2 名おり、2 名とも事前の備えをしていないとの回答でした。うち 1 名については「要支援者との避難」を避難の際不安なこととして挙げていました。

これらの回答は、家具転倒防止対策や耐震化、要支援者の個別避難計画作成等の事前の備えで避難完了までにかかる時間が短縮できる可能性があるため、対策の検討が必要です。

(4) 緊急避難場所について

「津波から命を守るために一時的に避難する場所はどこですか」との設問について回答を集計すると、「自宅」に避難するとの回答が 74 回答と最も多いという結果でした。次いで「かるぽーと」、「はりまや橋小学校」、「オーテピア」の回答が多くありましたが、回答数は 30~40 回答でした（図 6-7 参照）。

なお、1 回答しかなかったものを表 6-4 にまとめていますが、潮江など校区外の津波避難場所を想定している回答が 9 回答、校区内ではありますが津波避難ビルに指定されていない建物を想定している回答が 1 回答、津波から避難する十分な高さが無い場所を避難先として想定している回答（具体的な建物の記述がない回答）が 2 回答ありました。校区内の緊急避難場所について知らない可能性があるため、より緊急避難場所についての周知が必要と考えられます（表 6-4 参照）。

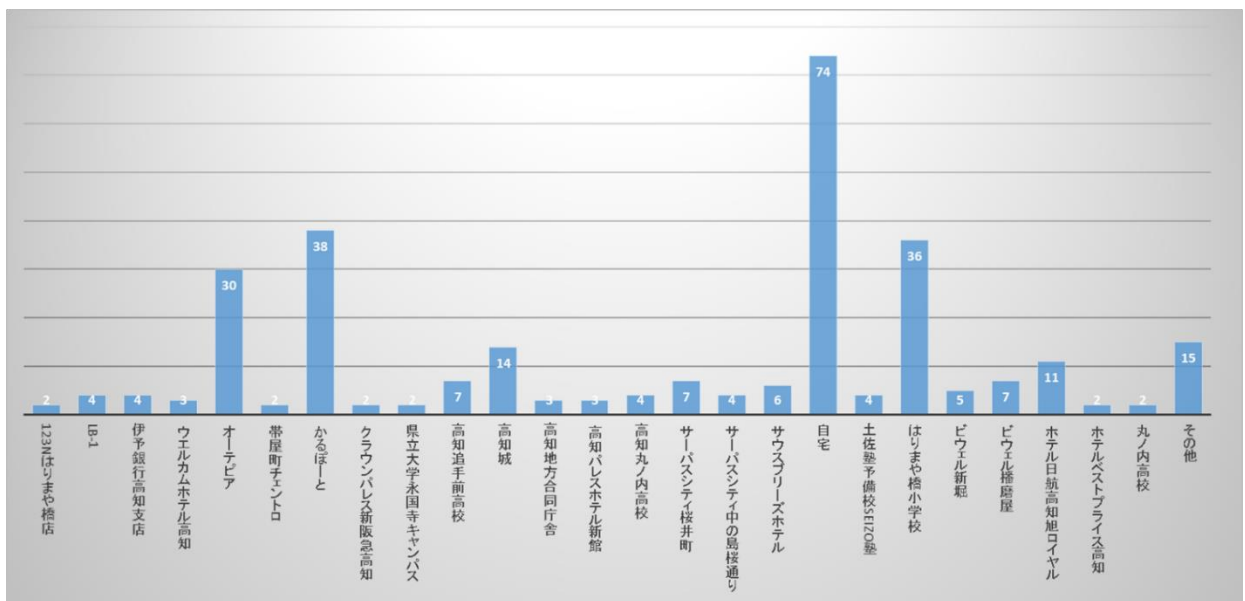


図 6-7 想定している緊急避難場所について

表 6-4 想定している緊急避難場所について（その他回答内訳）

校区内の津波避難ビル	本町	APパーク駐車場	校区外の津波避難場所	廿代町	一ツ橋小学校
	丸ノ内	高知県庁北庁舎		唐人町	潮江②(筆山への避難路)
	追手筋	高知城歴史博物館		唐人町	土佐中学校・高校
校区内の建物	与力町	さんさんクリニック		廿代町	愛宕中学校
浸水区域内	桜井町	追手筋		農人町	ラウンドワン
	帯屋町	中央公園		帯屋町	岡村ビル
				はりまや町	よさこい咲都合同庁舎
				中の島	ビュエル九反田
				桜井町	ライオンズマンション高知

※町名は回答者の居住地

第7章 津波避難における課題と今後の取組

第1節 避難行動の課題

はりまや橋小学校区において、津波が到達するまでに安全な場所へ避難し、津波警報が解除されるまでの安全を確保するためには、以下のような課題があることがわかりました。

(1) 緊急避難場所の課題

- ① 周辺の小学校区から避難者が多く移動してくる可能性が有り、避難者の集中によって、入口での渋滞などの混乱が生じるおそれがあります。
- ② 緊急避難場所（ビル）が不足しています。
- ③ 事業所の従業員等の緊急避難場所が把握できていません。
- ④ 観光客、買い物客、宿泊客など来訪者への緊急避難場所の周知が必要です。

(2) 津波避難経路の課題

- ① 緊急避難場所の入口や避難方向がわかりにくい状況です。
- ② 液状化などによって、道路の凸凹や段差等により避難速度が低下することが想定されます。
- ③ 夜間の避難対策が必要です。
- ④ 交通量の多い道路を横断する経路は、信号が停止することにより横断に時間を要するおそれがあります。
- ⑤ 建物に近接して避難する場合に、ガラス等の落下物に注意を要します。
- ⑥ 地区内の狭い道路でのブロック塀、建物、看板、電柱倒壊により道路がふさがれるおそれがあります。
- ⑦ 木造家屋が多い地区は、家屋が倒壊する可能性があり、避難の際に火災の危険や道路をふさぐおそれがあります。
- ⑧ イベント開催時には多くの人が集まり、災害が起きると混乱が生じます。
- ⑨ 商店街のアーケードなどが倒壊して津波避難経路をふさぐおそれがあります。
- ⑩ 堀川の浸水により周辺の津波避難経路が利用できないおそれがあります。

(3) 地域の防災力向上のための課題

- ① 自主防災組織が未組織の町内会があります。
- ② 自主防災組織の活動の活発化が必要です。
- ③ 防災訓練等を企画できる率先避難者が少ないです。
- ④ 夜間を想定した訓練が必要です。
- ⑤ 要配慮者（避難行動要支援者）の避難対策が検討できていない地区が多いです。
- ⑥ 津波警報等の情報伝達方法が必要です。
- ⑦ 津波避難ビル等に孤立した場合の連絡方法が必要です。

第2節 課題の解決に向けた取組

今後は、対策の方向性や、具体的な取組について検討を継続し、課題の解決に取り組めます。

(1) 自助・共助を主体とした取組

地区内の住民、各自主防災組織、町内会が主体となって、自助・共助への取組を行い、地区の安全度を高めていきます。

- ◆ 自主防災組織の結成と積極的な活動
- ◆ 津波避難ビルの指定へ向けて、所有者への協力依頼
- ◆ 避難訓練を実施し、津波避難経路、緊急避難場所（入口）を確認
- ◆ 学校や保育園、地域団体等と連携した訓練の実施や連絡体制の構築
- ◆ 食料などの備蓄
- ◆ 要配慮者（避難行動要支援者）の把握と避難行動の支援

- 「南海トラフ地震に備えちよき」 災害に備える上で重要なことは、地震や津波についての知識を深め、家庭や地域で対策を進めておくことです。高知県より全世帯に配布された『南海トラフ地震に備えちよき』等を参考に備えをしておきましょう。



(2) 公助を主体とした取組

自助・共助の取組に対するサポートや、公共事業による整備等において、地域の実情や要望事項等が反映されるよう、積極的に参画します。

- ◆ 津波避難マップの作成・配布
 - ◆ 自主防災組織活動への支援
 - ◆ 津波避難ビルの指定
 - ◆ 指定避難所等への物資の備蓄
 - ◆ ブロック塀改修などへの補助事業
 - ◆ 津波情報や南海トラフ地震臨時情報等の情報伝達
- ※ 南海トラフ地震臨時情報については、第9章及び巻末資料をご参照ください。

はりまや橋小学校区の概況写真

江ノ口川（上ノ橋）



江ノ口川（豊栄橋より下流）



高知城（追手門）



高知城（お堀）



堀川 河口付近



鏡川（中の島）



鏡川沿岸市街地



鏡川（唐人町）



帯屋町商店街（アーケード）



京町商店街（アーケード）



はりまや橋商店街（アーケード）



魚の棚商店街



裏通り



商店街（裏通り）



裏通り



看板類



看板・電線類



住宅街



木屋橋交差点歩道橋



堺町歩道橋



はりまや橋公園地下広場入口



はりまや橋公園地下広場（連絡）



はりまや橋公園地下広場入口付近



はりまや橋地下駐車場入口



石積壁



危険物貯蔵施設



道路階段



ブロック塀



第8章 はりまや橋小学校区津波避難計画の検討経緯

本津波避難計画の検討経緯は、以下のとおりです。

平成 26 年 6 月 20 日

○平成 26 年度 第 1 回検討会

- ・津波避難の基本的な考え方について
- ・津波避難計画書（案）の提案
- ・計画書の活用について
- ・計画書をベースとしたマップの作成・配布について
- ・各地区での検討依頼



○各地区での検討及び計画書へのとりまとめ

平成 26 年 7 月 31 日

○平成 26 年度 第 2 回検討会

- ・津波避難計画書の確認と配布



令和 3 年度「津波避難計画」の検証の流れ
令和 3 年 11 月～

○津波避難に関するアンケートの実施

- ・調査内容の確認
- ・はりまや橋小学校児童及びはりまや橋小学校区の住民にアンケート配布
- ・アンケートの回収・集計

令和 5 年 3 月 23 日

○アンケート集計結果の共有

- ・集計結果の確認

第9章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合など、南海トラフ地震の発生の可能性が高まった場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。発表時には、発生するおそれのある地震に備え、津波浸水想定区域外の知り合いや親戚宅への自主的な事前避難や日頃の備えの再確認など、住民それぞれの日常生活を考慮した行動が必要です。

南海トラフ地震臨時情報の詳細については、巻末資料をご参照ください。

表8-1 南海トラフ地震に関する情報

		発表基準	発表後とるべき行動	市民への情報伝達
南海トラフ地震発生時に発表される情報 (津波に関する警報・注意報)	津波注意報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 1m (20cm<高さ≤1m)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れる 津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしない	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線 ・緊急速報メール ・広報車 による警報・注意報の伝達・周知
	津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 3m (1m<高さ≤3m)	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない	
	大津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 5m (3m<高さ≤5m) 10m (5m<高さ≤10m) 10m超 (10m<高さ)		
南海トラフ地震の可能性が高まった場合に発表される情報	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	巨大地震の発生に注意が必要な場合	各々の日常生活を考慮し、自主的な事前避難または日頃の備えの確認を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車による伝達・周知 ・日頃からの備えの再確認を呼びかけ
	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合		<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車による伝達・周知 ・事前避難対象地域への避難指示 ・その他避難の必要があると考えられる地域への避難呼びかけ

資料 I : 臨時情報について

1 南海トラフ地震臨時情報

(1) 南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」(以下、臨時情報)は、南海トラフ地震の想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や南海トラフ地震の想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した場合に、それらに対する調査開始の旨、そして、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において調査した結果、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。



(参照：海上保安庁海洋情報部と中央防災会議資料をもとに高知大学総合研究センター改変)

図 南海トラフ地震の想定震源域

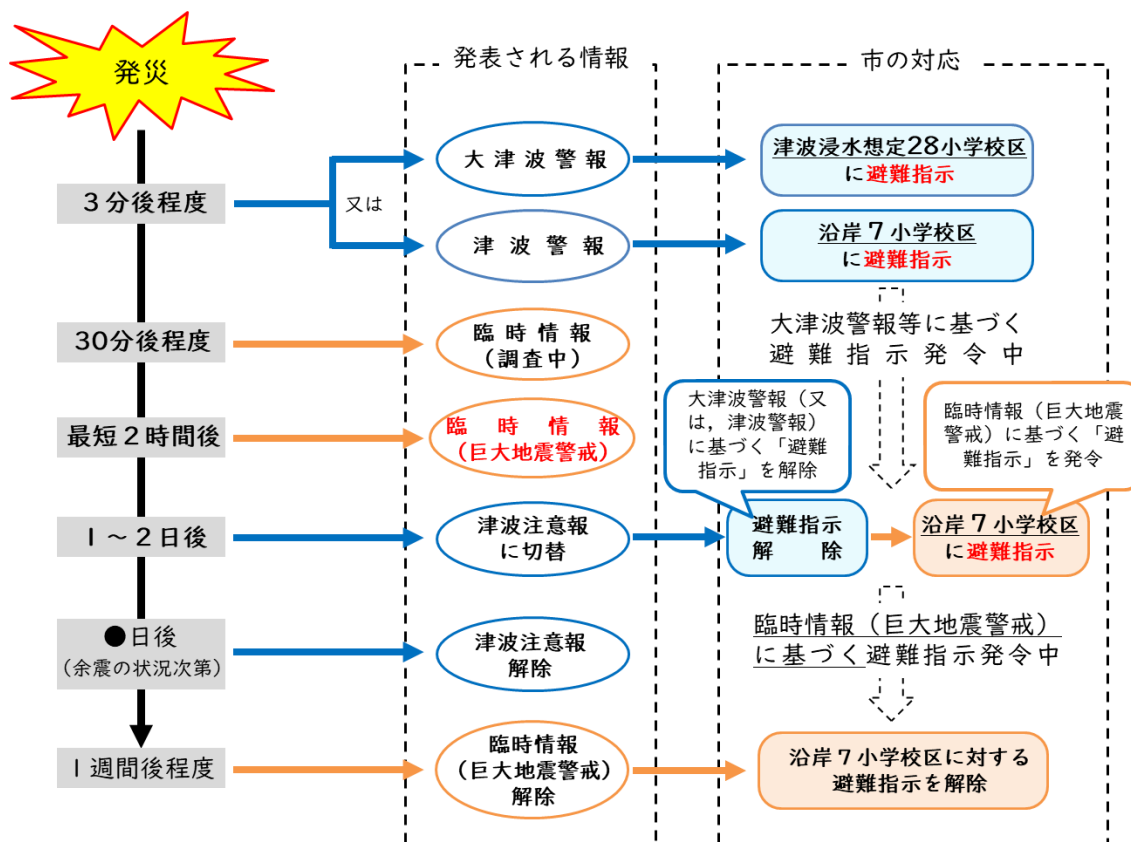
異常な現象の発生後、5～30分程度で調査の開始を知らせる「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」が発表されます。この調査の結果は、地震発生の可能性が相対的に高まっている、発生後2時間程度で改めて調査結果が臨時情報として発表されます。

各情報(調査結果)の内容及び発表後の防災対応の詳細については、次頁(表 臨時情報の発表と防災対応の内容)を参照ください。

表 臨時情報の発表と防災対応の内容

情報名	発表の条件	防災対応
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>巨大地震警戒</u>)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、M8.0以上の地震が発生したと評価された場合	【巨大地震警戒対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ・津波からの避難が間に合わない一部の地域（事前避難対象地域）では引き続き1週間避難を継続 ※ 1週間で「巨大地震注意対応」に引き下げられる。
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>巨大地震注意</u>)	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、 ・M7.0以上の地震（巨大地震警戒に該当する場合は除く）（※1） ・通常と異なるゆっくりすべり（※2）が発生したと評価された場合等	【巨大地震注意対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ※ 1週間程度で解除される。 ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。
南海トラフ地震 臨時情報 (<u>調査終了</u>)	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価された場合	通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。

- ※1 想定震源域、またはその周辺でM7.0以上の地震が発生（ただし、プレート境界のM8.0以上の地震を除く）
 ※2 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりしたずれによる地殻変動を観測した場合など



青色：東側で発生した地震に関連した情報及び対応
 橙色：西側で発生するおそれのある後発地震に関連した情報及び対応

図 南海トラフの東側でM8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）の対応フロー

2 臨時情報発表時の避難行動

(1) 臨時情報発表時の避難行動の考え方

地震や津波からの避難対策は、基本その場での突発的な対応が基本になりますが、高知市では、より安全に避難を行うための手段として、臨時情報を活用して事前避難対象地域に対しての避難指示の発令のほか、日頃からの地震への備えの再確認や、自主的な避難の呼びかけなどの防災対応を実施します。

① 事前避難対象地域

30cm以上の津波浸水が地震発生から30分以内に生じる地域について、当該地域を事前避難対象地域として設定し、巨大地震警戒対応時には当該地域に居住している方等を対象に、避難指示を発令します。

高知市の事前避難対象地域は、次のとおりです。

【事前避難対象地域】※ 以下7地区のうち、()内に記載の全部、または一部の地域

- ・ 浦戸小学校区（浦戸）
- ・ 長浜小学校区（長浜、御畳瀬）
- ・ 横浜小学校区（横浜、瀬戸東町1丁目、瀬戸東町2丁目、横浜西町、横浜東町、瀬戸1丁目、瀬戸2丁目）
- ・ 三里小学校区（種崎、仁井田）
- ・ 十津小学校区（十津2丁目、十津5丁目、十津6丁目、仁井田）
- ・ 春野東小学校区（東諸木、甲殿）
- ・ 春野西小学校区（仁ノ、西畑）

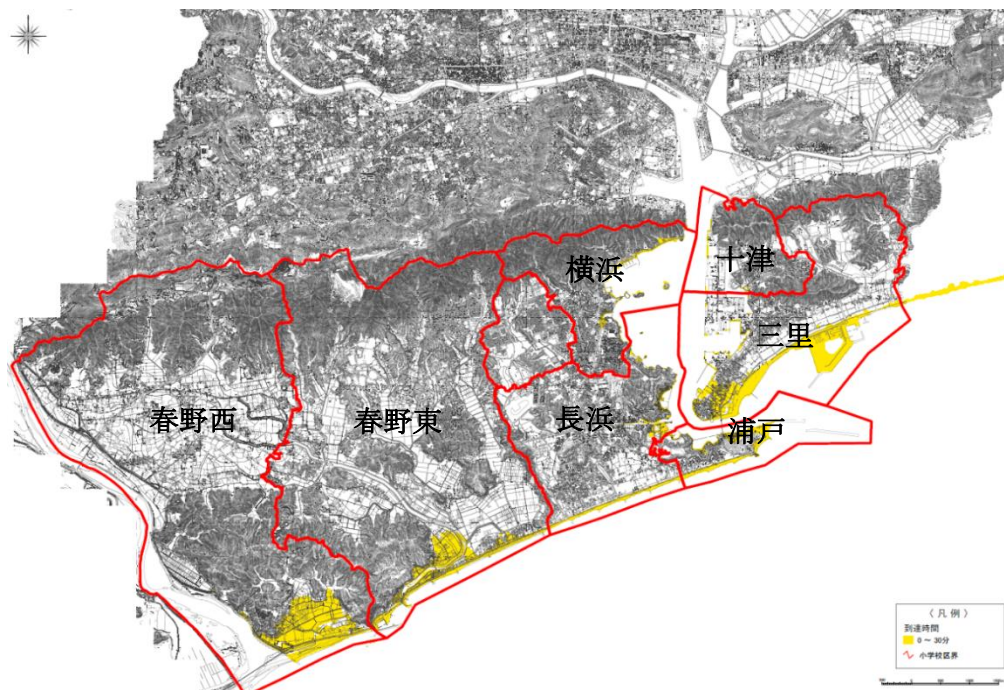


図 高知市の事前避難対象地域（黄色箇所）

事前避難対象地域に居住している方だけでなく、その周辺の方についても、それぞれの状況を考慮し、地震発生後の避難では間に合わないおそれがあると判断した場合、浸水想定区域外の親類や知人宅を基本とした自主避難をしていただくことが必要です。

② 自主的な避難を呼びかける地域

避難指示を発令する事前避難対象地域（またはその周辺地域）にお住まいの方以外の一部の方について、親類や知人宅を基本とした自主避難を呼びかけます。

自主的な避難の呼びかけを行う対象は、次のとおりです。

- ・ **津波到達時間が短く地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者**

事前避難対象地域に加えて、各人の状況により、地震発生後の避難では間に合わないおそれがある居住者を対象に、自主避難を呼びかけます。

- ・ **耐震性の不足する住宅にお住まいの方**

地震の揺れで倒壊する可能性が高く、避難が困難になることから、臨時情報発表時には、自主的な事前避難を呼びかけます。

- ・ **斜面崩壊のおそれがある範囲にお住まいの方**

地震による土砂災害が発生する可能性が高い範囲として、「土砂災害警戒区域」の斜面際からの距離がおおむね 10 メートルの範囲内に居住されている方を対象に自主的な事前避難を呼びかけます。

臨時情報は地震発生の可能性の高まりを知らせるものであるため、地震発生可能性と防災対応の実施による日常生活・企業活動への影響のバランスを考えつつ、それぞれがより安全な行動を選択することが必要です。

3 開設される避難所について

臨時情報発表時開設される避難所は、命や財産の安全を最大限図るために設けられる「一般基準」、または、日常生活などを可能な限り阻害しないために設けられる「特別基準」を満たした施設の中から選定し開設します。

これらの基準は、臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際の最初の地震発生から 1 週間程度の間開設される避難所に適用されます。1 週間以降 2 週間経過まで、もしくは臨時情報（巨大地震注意）が発表された際には、親類や知人宅への避難が基本になります。

(1) 一般基準

命や財産の安全を最大限図るため、地震が発生した場合にも一定の安全が確保できる施設を選定する基準が「一般基準」です。一般基準によって選定される避難所は、以下のすべての条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【一般基準】

- ・ 津波浸水想定区域外であること
- ・ 土砂災害警戒区域外であること
- ・ 耐震性を備えていること
- ・ 一定の駐車スペースがあること

表 一般基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	第四小学校 (体育館)	上町二丁目 1-11	686	343	有	なし	なし	有	有
2	小高坂	城西中学校 (体育館)	大膳町 3-5	811	405	有	なし	なし	有	有
3	旭街	旭小学校 (体育館)	本宮町16	837	418	有	なし	なし	有	有
4	旭街	横内小学校 (体育館)	横内242-13	977	488	有	なし	なし	有	有
5	旭街	高知特別支援学校 (体育館)	本宮町125	708	354	有	なし	なし	有	有
6	初月	初月小学校 (体育館)	南久万128	1,045	522	有	なし	なし	有	有
7	朝倉	朝倉小学校 (体育館)	朝倉本町二丁目11-20	798	399	有	なし	なし	有	有
8	朝倉	朝倉第二小学校 (体育館)	若草南町23-56	580	290	有	なし	なし	有	有
9	鴨田	鴨田小学校 (体育館)	鴨部1155	1,974	987	有	なし	なし	有	有
10	鴨田	神田小学校 (体育館)	神田1174-1	953	476	有	なし	なし	有	有
11	鴨田	西部中学校 (体育館)	鴨部一丁目 9-1	816	408	有	なし	なし	有	有
12	秦	秦小学校 (体育館)	愛宕山19	784	392	有	なし	なし	有	有
13	長浜	横浜新町小学校 (体育館)	横浜新町五丁目2201	912	456	有	なし	なし	有	有
14	介良	介良潮見台小学校 (体育館)	潮見台一丁目2602-1	1,040	520	有	なし	なし	有	有
15	土佐山	旧土佐山中学校 (体育館)	土佐山弘瀬405	572	286	有	なし	なし	有	有
16	春野	春野西小学校 (体育館)	春野町弘岡中2501	638	319	有	なし	なし	有	有
17	春野	春野中学校 (体育館)	春野町西分328	969	484	有	なし	なし	有	有
合計				15,100	7,547					

(2) 特別基準

事前避難による日常生活及び企業活動の阻害を可能な限り減らすため、一般基準のほかに特別基準を設け、開設する避難所を追加で選定します。

特別基準によって選定する避難所は、次頁の条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【特別基準】

- ・ 津波浸水想定区域内にあるが、建物の上階であれば津波浸水をしない避難スペースが確保できる施設
- ・ 避難所の敷地の一部が土砂災害警戒区域内にあるが、実際の避難スペースである建物等が土砂災害警戒区域外にあるなど、最低限安全が確保できる施設
- ・ その他、実際の事前避難者数や開設避難所の偏りなど、地域の実情に応じて順次開設施設を追加

特別基準は、浸水想定区域内に居住している方が必ずしも最寄りの避難所に入ることを求めたものではありません。それぞれの通勤や通学などといった日常生活の状況を考慮し、避難所を選択できるようにしたものです。

特別基準を満たしている避難所は、次のとおりです（表 特別基準を満たしている避難所参照）。

表 特別基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	旭街	旭東小学校（体育館）	北端町51	577	288	有	なし	校舎は該当	有	有
2	長浜	横浜中学校（体育館）	横浜新町一丁目401	879	439	有	なし	校舎は該当	有	有
3	長浜	長浜小学校（校舎・2階以上）	長浜4811	1,716	858	なし	(1-2m)	なし	有	有
4	長浜	南海中学校（校舎・2階以上）	長浜5235	1,800	900	有	(0.3-1m)	なし	有	有
5	高知街	第六小学校（校舎・2階以上）	升形9-4	773	386	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
6	北街	はりまや橋小学校（校舎・2階以上）	はりまや町二丁目14-8	1,059	529	有	(1-2m)	なし	有	有
7	下知	昭和小学校（校舎・3階以上）	日の出町7-61	1,165	582	なし	(2-3m)	なし	有	有
8	江ノ口	愛宕中学校（校舎・2階以上）	相模町1-54	1,321	660	なし	(1-2m)	なし	有	有
9	江ノ口	一ツ橋小学校（校舎・2階以上）	吉田町4-10	1,167	583	なし	(1-2m)	なし	有	有
10	江ノ口	城東中学校（校舎・3階以上）	江陽町1-20	387	193	なし	(2-3m)	なし	有	有
11	江ノ口	江陽小学校（校舎・3階以上）	江陽町1-30	208	104	なし	(2-3m)	なし	有	有
12	江ノ口	江ノ口小学校（校舎・3階以上）	新本町一丁目8-12	800	400	なし	(2-3m)	なし	有	有
13	小高坂	小高坂小学校（校舎・2階以上）	新屋敷一丁目11-5	808	404	有	(0.3-1m)	なし	有	有
14	小高坂	城北中学校（校舎・2階以上）	八反町一丁目8-14	1,724	862	有	(0.3-1m)	なし	有	有
15	潮江	潮江中学校（校舎・3階以上）	塩屋崎町一丁目2-20	1,354	677	なし	(2-3m)	なし	有	有
16	布師田	布師田小学校（校舎・2階以上）	布師田1781-1	300	150	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
17	一宮	一宮小学校（校舎・2階以上）	一宮西町一丁目9-1	1,553	776	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
18	一宮	一宮中学校（校舎・2階以上）	一宮南町一丁目3-1	1,795	897	なし	(1-2m)	なし	有	有
19	大津	大津中学校（校舎・3階以上）	大津乙740-1	646	323	なし	(2-3m)	なし	有	有
20	大津	大津小学校（校舎・2階以上）	大津乙972	1,016	508	なし	(1-2m)	なし	有	有
21	介良	介良中学校（校舎・3階以上）	介良乙2620	583	291	なし	(2-3m)	なし	有	有
22	介良	介良小学校（校舎・2階以上）	介良乙2735-1	1,482	741	なし	(1-2m)	なし	有	有
23	五台山	青柳中学校（校舎・3階以上）	五台山3923	818	409	なし	(2-3m)	なし	有	有
合計				23,931	11,960					

※1 津波浸水のある施設は、浸水想定を踏まえて施設の上階を避難スペースとする。

※2 津波浸水が3メートルを超えると想定されている施設、津波浸水及び土砂災害の両方に該当する施設については、避難者の安全を確保することが困難であるため、開設避難所候補から除外している。

(3) 巨大地震注意対応時の開設避難所

巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難が基本になりますが、知人宅等への避難ができない場合を想定して、自主避難者を受け入れる避難所を開設します。この場合の開設避難所は、大雨・台風時に優先的に解説する避難所を候補とします。

巨大地震注意対応時の開設避難所の候補は、次（表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補）のとおりです。

表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	龍馬の生まれたまち記念館	上町二丁目6-33	137	68	なし	なし	なし	有	有
2	下知	弥右衛門ふれあいセンター	北御座2-60	659	329	有	(2-3m)	なし	有	有
3	下知	下知コミュニティセンター	二葉町10-7	304	152	有	(3-5m)	なし	有	有
4	江ノ口	江ノ口コミュニティセンター	愛宕町一丁目10-7	258	129	有	(1-2m)	なし	有	有
5	旭街	木村会館（※建替中）	旭町三丁目121	—	—	なし	なし	なし	有	有
6	潮江	潮江市民図書館	棧橋通二丁目1-50	636	316	なし	(2-3m)	なし	有	有
7	三里	三里ふれあいセンター	仁井田4229-2	92	46	有	(0.3-1m)	なし	有	有
8	五台山	五台山ふれあいセンター	五台山2945-2	150	75	有	(3-5m)	なし	有	有
9	高須	高須ふれあいセンター	高須新町二丁目5-15	119	59	有	(2-3m)	なし	有	有
10	布師田	布師田ふれあいセンター	布師田1647	271	135	有	なし	該当	有	有
11	一宮	一宮ふれあいセンター	一宮中町一丁目5-20	151	75	有	(0.3-1m)	なし	有	有
12	秦	秦ふれあいセンター	中秦泉寺54-3	136	68	有	なし	なし	有	有
13	初月	初月ふれあいセンター	南久万119-1	138	69	有	なし	なし	有	有
14	朝倉	朝倉ふれあいセンター	曙町一丁目14-12	100	50	有	なし	なし	有	有
15	鴨田	鴨田ふれあいセンター (※西部健康福祉センター)	鴨部860-1	828	414	有	なし	なし	有	有
16	長浜	長浜ふれあいセンター	長浜690-5	139	69	有	(1-2m)	なし	有	有
17	御畳瀬	御畳瀬ふれあいセンター	御畳瀬252	133	66	有	(2-3m)	該当	有	有
18	浦戸	浦戸ふれあいセンター	浦戸274-9	146	73	有	(3-5m)	なし	有	有
19	大津	大津ふれあいセンター	大津乙930-5	168	84	有	(1-2m)	なし	有	有
20	介良	介良ふれあいセンター	介良乙2286	136	68	有	(1-2m)	なし	有	有
21	鏡	中山間地域構造改善センター	鏡小浜8	456	227	有	なし	該当	有	有
22	土佐山	土佐山公民館	土佐山122-1	258	128	有	なし	なし	有	有
23	春野	あじさい会館	春野町西分1-1	357	178	有	(0.3-1m)	なし	有	有
合計				5,772	2,878					

※ 巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難を基本としているが、知人宅等への避難が困難な場合に、上記施設のうちから、津波浸水がなく、かつ、土砂災害警戒区域に該当しない施設から順次開設予定。

※ 令和4年3月現在

資料Ⅱ：はりまや橋小学校区津波避難行動支援マップ（平成 25 年度作成）

（A3 津波避難行動支援マップ 差し込み）

※ 「はりまや橋小学校区津波避難行動支援マップ」については、高知市ホームページで閲覧されている方は同ページの「津波避難行動支援マップ」をご覧ください。

令和6年3月
高知市防災対策部
地域防災推進課